

地域福祉に関するアンケート調査

報告書

宮城県 美里町
平成28年11月

■ ■ 目 次 ■ ■

調査概要	1
1 調査の目的と実施概要	1
2 集計結果を読む際の留意事項	2
調査結果	3
1 あなたご自身のことについて	3
2 地域での暮らしについて	10
3 地域活動について	20
4 町の福祉情報の入手について	32
5 福祉サービスについて	41
6 相談について	53
7 人権・権利擁護について	66
8 町の福祉施策について	73

調査概要

調査概要

1 調査の目的と実施概要

(1) 調査の目的

地域福祉に関するアンケート調査（以降、「本調査」とします。）は、計画の策定にあたり、ともに支えあう福祉社会の実現にむけて、住民の皆さんの意見、要望等を収集し、計画に反映させることを目的として実施しました。

(2) 実施概要

本調査の対象及び配布、回収状況は、以下のとおりとなっています。

《 調 査 概 要 》

- 調 査 対 象：美里町内にお住まいの18歳以上の方
- 抽 出 方 法：年齢、地域による層化無作為二段抽出により2,000名を抽出
- 調 査 内 容：地域の福祉環境や福祉活動に関すること
 - 1. あなた自身のこと
 - 2. 地域での暮らし
 - 3. 地域活動
 - 4. 福祉情報の入手
 - 5. 福祉サービス
 - 6. 相談
 - 7. 人権・権利擁護
 - 8. 町の福祉施策
- 調 査 期 間：平成28年9月
- 調 査 方 法：郵送配布・回収
- 配布・回収：

配布数	回収数	未回収票数	回収率
2,000 票	955 票	1,045 票	47.8%

2 集計結果を読む際の留意事項

この調査の集計結果を読む際の留意事項は以下のとおりです。

《 留 意 事 項 》

- 調査結果の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で示しています。
- 調査結果の図表に示す「n」は「Number of case」の略で、構成比算出の母数、つまり、当該設問の回答者数（限定設問においては該当者数）を示しています。
- 設問には、当該設問に回答した人のみが答える「限定設問」があり、この場合の「n」（該当者数）は回答者数全数より少ない場合があります。
- 図表の構成比（百分率）は、回答者数（限定設問においては該当者数）を 100% として算出しており、本文及び図表の構成比（百分率）は小数点第 2 位以下を四捨五入し、小数点第 1 位までを表記しています。
（ 四捨五入のため、単数回答（複数の選択肢から 1 つの選択肢を選ぶ方式）であっても各比率の合計が 100.0% とならない場合があります。）
- 複数回答の設問では、各比率の合計が 100.0% を超える場合があります。
- 図表中の「0.0」、「- 」は、四捨五入の結果、または回答者が皆無であることを示しています。
- 属性別分析結果において、構成比算出の母数（属性毎の回答者数）が少数になる場合、各比率は統計的な誤差の大きい可能性があるため、比率の取扱いに注意する必要があります。
- 選択肢の語句が長い場合、本文中及び図表中で省略した表現を用いている場合があります。

調査結果

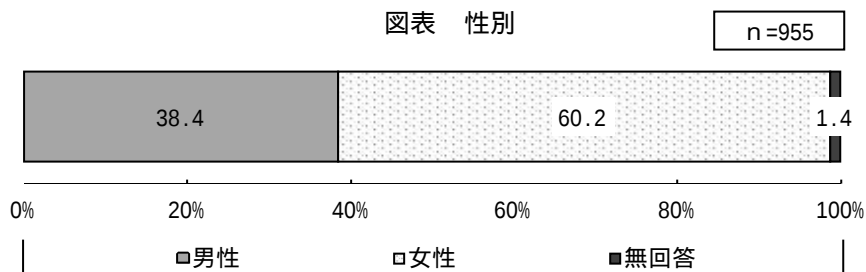
調査結果

1 あなたご自身のことについて

(1) 性別

問 あなた（対象者ご本人）の性別を教えてください。【1つに○】

○ 回答者の性別は、「男性」が38.4%、女性」が60.2%となっています。

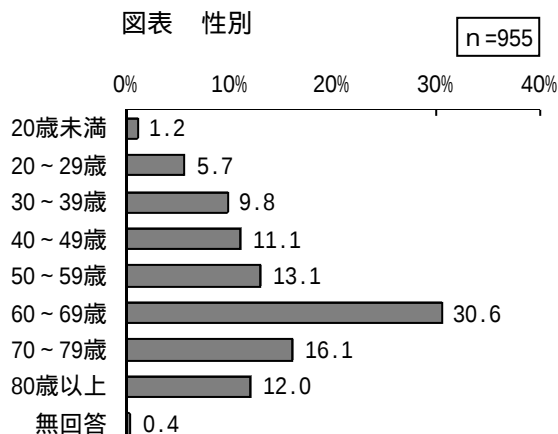


	n=955	%
1 男性	367	38.4%
2 女性	575	60.2%
無回答	13	1.4%

(2) 年齢

問 平成28年8月1日現在のあなたの年齢を教えてください。【1つに○】

○ 回答者の年齢は、「60～69歳」が30.6%と最も高くなっています。次いで「70～79歳」が16.1%、「50～59歳」が13.1%となっています。



図表 性別

	n=955	%
1 20歳未満	11	1.2%
2 20～29歳	54	5.7%
3 30～39歳	94	9.8%
4 40～49歳	106	11.1%
5 50～59歳	125	13.1%
6 60～69歳	292	30.6%
7 70～79歳	154	16.1%
8 80歳以上	115	12.0%
無回答	4	0.4%

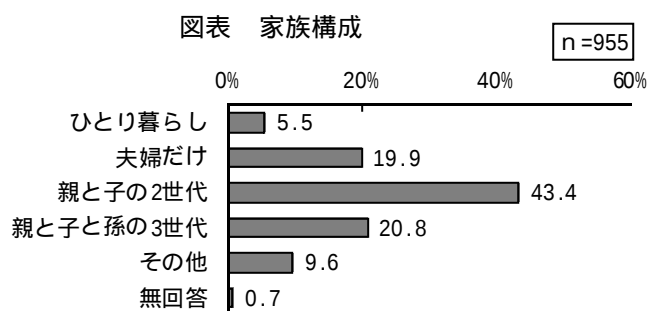
図表 年齢（性別）

	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	無回答
男性(n=367)	1.6%	5.2%	10.4%	8.4%	13.9%	33.8%	15.5%	10.9%	0.3%
女性(n=575)	0.9%	6.1%	9.7%	12.7%	12.5%	29.0%	16.7%	12.3%	0.0%

（３）家族構成

問 あなたが現在一緒に住んでいる家族構成を教えてください。【１つに○】

- 回答者の家族構成は、「親と子の２世代」が43.4%と最も高く、次いで「親と子と孫の３世代」が20.8%、「夫婦だけ」が19.9%となっています。



	n=955	%
1 ひとり暮らし	53	5.5%
2 夫婦だけ	190	19.9%
3 親と子の２世代	414	43.4%
4 親と子と孫の３世代	199	20.8%
5 その他	92	9.6%
無回答	7	0.7%

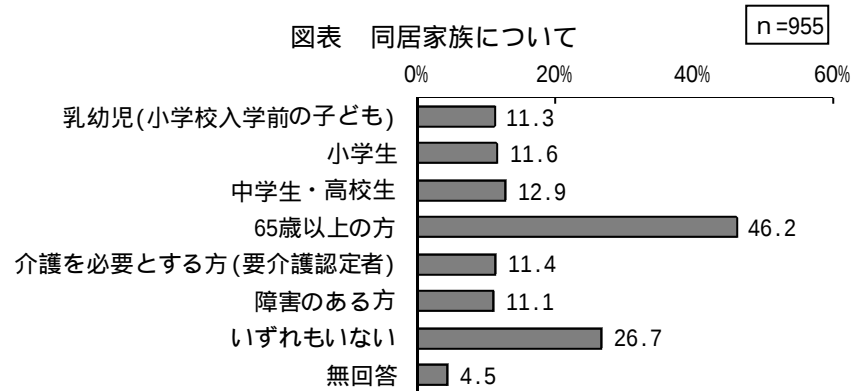
図表 家族構成（年齢別）

	ひとり暮らし	夫婦だけ	親と子の2世代	親と子と孫の3世代	その他	無回答
男性(n=367)	4.4%	22.3%	44.7%	19.6%	8.7%	0.3%
女性(n=575)	6.3%	18.1%	43.0%	21.9%	10.3%	0.5%
20歳未満(n=11)	0.0%	0.0%	63.6%	27.3%	9.1%	0.0%
20～29歳(n=54)	1.9%	3.7%	64.8%	22.2%	7.4%	0.0%
30～39歳(n=94)	3.2%	6.4%	57.4%	20.2%	12.8%	0.0%
40～49歳(n=106)	1.9%	3.8%	60.4%	22.6%	11.3%	0.0%
50～59歳(n=125)	4.0%	19.2%	50.4%	21.6%	4.0%	0.8%
60～69歳(n=292)	5.8%	27.7%	39.4%	18.2%	8.6%	0.3%
70～79歳(n=154)	6.5%	33.8%	25.3%	23.4%	11.0%	0.0%
80歳以上(n=115)	13.0%	17.4%	32.2%	21.7%	13.9%	1.7%

（４）同居家族について

問 あなた自身、またはあなたが同居している家族の中に、次のような方はいますか。
【あてはまるものすべてに○】

- 回答者の同居家族は、「65歳以上の方」が46.2%と最も高く、「いずれもいない」と回答した割合は26.7%となっています。



	n=955	%
1 乳幼児（小学校入学前の子ども）	108	11.3%
2 小学生	111	11.6%
3 中学生・高校生	123	12.9%
4 65歳以上の方	441	46.2%
5 介護を必要とする方（要介護認定者）	109	11.4%
6 障害のある方	106	11.1%
7 いずれもいない	255	26.7%
無回答	43	4.5%

- 参考までに、回答者の年齢・世帯状況を踏まえると、回答全体では、以下のような方のいる世帯のことがわかります。
- 回答結果から、5 割近い世帯（46.2％）で 65 歳以上の同居者がおり、介護の必要な方のいる世帯は 2 割（19.4％）となっています。

図表 同居家族による世帯状況

	n=955	%
1 ¹ 未就学児童のいる世帯	108	11.3%
2 ² 児童・生徒のいる世帯	191	20.0%
3 65 歳以上のいる世帯	441	46.2%
4 ³ 介護の必要な方のいる世帯	185	19.4%

1 未就学児童のいる世帯：乳幼児（小学校入学前の子ども）のいる世帯

2 児童・生徒のいる世帯：小学生・中学生・高校生のいる世帯

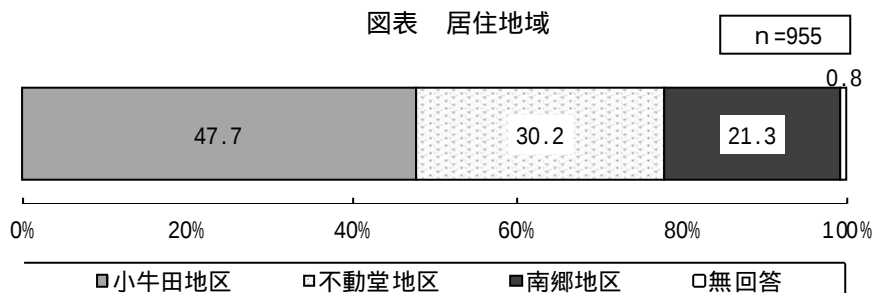
3 介護の必要な方のいる世帯：介護を受けている方、障がいのある方のいる世帯

（５）居住地域

問 あなたのお住まいの地区を教えてください。【１つに○】

- 回答者の居住地域（３地区）は、「小牛田地区」が 47.7％、「不動堂地区」が 30.2％、「南郷地区」が 21.3％となっています。

図表 居住地域



	n=955	%
1 小牛田地区	456	47.7%
2 不動堂地区	288	30.2%
3 南郷地区	203	21.3%
無回答	8	0.8%

図表 居住地域（性別）

	小牛田地区	不動堂地区	南郷地区	無回答
男性(n=367)	45.5%	34.6%	19.3%	0.5%
女性(n=575)	49.2%	27.8%	22.4%	0.5%

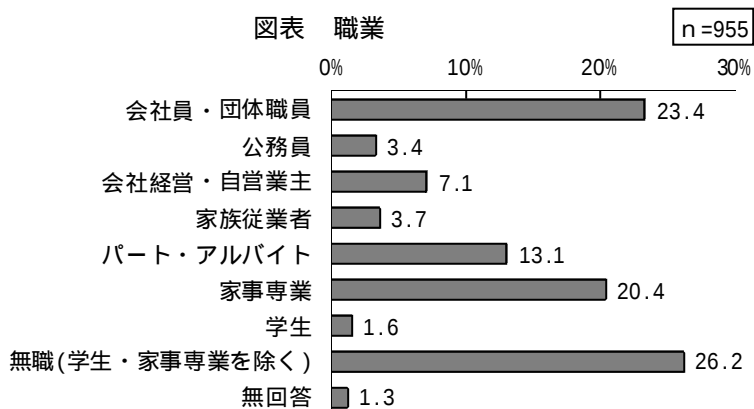
図表 居住地域（年齢）

	小牛田地区	不動堂地区	南郷地区	無回答
男性(n=367)	45.5%	34.6%	19.3%	0.5%
女性(n=575)	49.2%	27.8%	22.4%	0.5%
20歳未満(n=11)	72.7%	0.0%	27.3%	0.0%
20～29歳(n=54)	53.7%	25.9%	16.7%	3.7%
30～39歳(n=94)	47.9%	34.0%	18.1%	0.0%
40～49歳(n=106)	38.7%	42.5%	18.9%	0.0%
50～59歳(n=125)	39.2%	34.4%	26.4%	0.0%
60～69歳(n=292)	50.3%	25.3%	23.6%	0.7%
70～79歳(n=154)	51.9%	33.8%	14.3%	0.0%
80歳以上(n=115)	49.6%	23.5%	26.1%	0.9%

（６）職業

問 あなたの現在の職業を教えてください。【１つに○】

- 回答者の現在の職業では、「無職（学生・家事専業を除く）」が26.2%と最も高く、次いで「会社員・団体職員」が23.4%、「家事専業」が20.4%となっています。



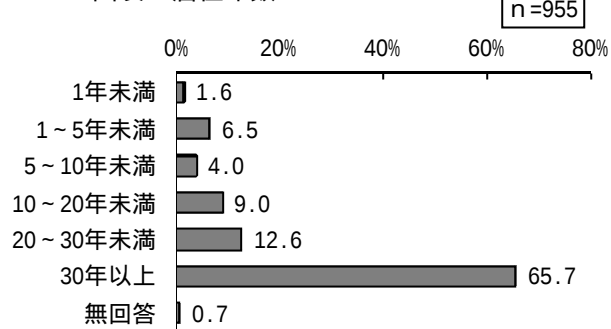
	n=955	%
1 会社員・団体職員	223	23.4%
2 公務員	32	3.4%
3 会社経営・自営業主	68	7.1%
4 家族従業者	35	3.7%
5 パート・アルバイト	125	13.1%
6 家事専業	195	20.4%
7 学生	15	1.6%
8 無職（学生・家事専業を除く）	250	26.2%
無回答	12	1.3%

(7) 居住年数

問 あなたは美里町に住んで何年になりますか。【 1 つに ○ 】

- 回答者の居住年数は、「30 年以上」が 65.7%と最も高く、次いで「20～30 年未満」が 12.6%、「10～20 年未満」が 9.0%となっています。

図表 居住年数



	n=955	%
1 1年未満	15	1.6%
2 1～5年未満	62	6.5%
3 5～10年未満	38	4.0%
4 10～20年未満	86	9.0%
5 20～30年未満	120	12.6%
6 30年以上	627	65.7%
無回答	7	0.7%

図表 居住年数（性別・年齢）

	1年未満	1～5年未満	5～10年未満	10～20年未満	20～30年未満	30年以上	無回答
男性(n=367)	1.4%	5.4%	2.7%	7.6%	11.4%	71.4%	0.0%
女性(n=575)	1.7%	7.1%	4.7%	10.1%	13.6%	62.1%	0.7%
20歳未満(n=11)	0.0%	9.1%	0.0%	90.9%	0.0%	0.0%	0.0%
20～29歳(n=54)	7.4%	11.1%	7.4%	5.6%	68.5%	0.0%	0.0%
30～39歳(n=94)	6.4%	23.4%	12.8%	12.8%	6.4%	37.2%	1.1%
40～49歳(n=106)	0.0%	15.1%	8.5%	24.5%	15.1%	36.8%	0.0%
50～59歳(n=125)	0.8%	4.0%	2.4%	8.0%	19.2%	65.6%	0.0%
60～69歳(n=292)	0.7%	2.7%	0.7%	5.8%	7.9%	82.2%	0.0%
70～79歳(n=154)	0.6%	0.0%	3.2%	3.9%	7.1%	84.4%	0.6%
80歳以上(n=115)	0.9%	3.5%	2.6%	1.7%	1.7%	87.8%	1.7%

図表 居住年数（地区別）

	1 年未満	1～5 年 未満	5～10 年 未満	10～20 年 未満	20～30 年 未満	30 年以上	無回答
小牛田地区 (n=456)	2.6%	4.2%	4.6%	9.2%	12.5%	66.7%	0.2%
不動堂地区 (n=288)	0.0%	12.5%	3.5%	9.7%	14.9%	59.0%	0.3%
南郷地区 (n=203)	1.5%	3.0%	3.4%	7.9%	9.4%	73.9%	1.0%

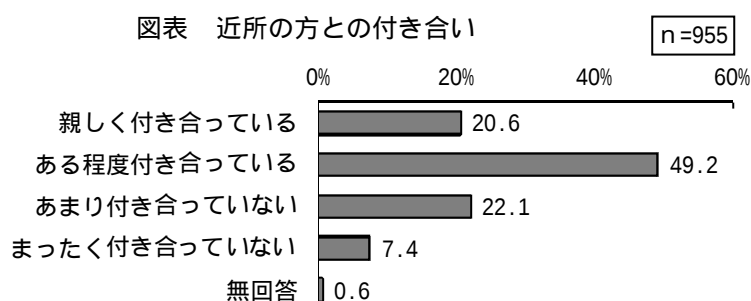
2 地域での暮らしについて

(1) 近所の方との付き合い

問 あなたは、日頃、ご近所の方とどの程度の付き合い方をしていますか。【1つに○】

- 回答者の近所の方との付き合いは、「ある程度付き合っている」が49.2%と最も高くなっています。
- 「親しく付き合っている」(20.6%)、「ある程度付き合っている」(49.2%)を合わせた7割(69.8%)の方は“近所の方との付き合いがある”と感じている一方で、「あまり付き合っていない」(22.1%)、「まったく付き合っていない」(7.4%)を合わせた3割(29.5%)の方は“近所の方との付き合いはない”と感じています。

図表 近所の方との付き合い



	n=955	%
1 親しく付き合っている	197	20.6%
2 ある程度付き合っている	470	49.2%
3 あまり付き合っていない	211	22.1%
4 まったく付き合っていない	71	7.4%
無回答	6	0.6%

- 性別による近所の方との付き合いをみると、男女ともに「ある程度付き合っている」が最も高くなっています。
- 年齢別においても、各年齢層で「ある程度付き合っている」が最も高く、性別や年齢に関わらず、“近所の方との付き合いがある”と感じていることがうかがえます。
- 各年齢層の「まったく付き合っていない」と回答した割合は、20歳未満が最も高く、70歳代にかけて低くなる一方、70歳以降に再び高くなる傾向がみられます。

図表 近所の方との付き合い(性別)

	“近所の方との付き合いがある”		“近所の方との付き合いはない”		無回答
	親しく付き合っている	ある程度付き合っている	あまり付き合っていない	まったく付き合っていない	
男性(n=367)	25.9%	43.9%	22.3%	7.6%	0.3%
女性(n=575)	17.6%	52.3%	22.4%	7.5%	0.2%

“近所の方との付き合いがある”：「親しく付き合っている」、「ある程度付き合っている」と回答した方

“近所の方との付き合いはない”：「あまり付き合っていない」、「まったく付き合っていない」と回答した方

図表 近所の方との付き合い（年齢別）

	「近所の方との付き合いがある」		「近所の方との付き合いはない」		無回答
	親しく 付き合っている	ある程度 付き合っている	あまり 付き合っていない	まったく 付き合っていない	
20歳未満(n=11)	18.2%	45.5%	9.1%	27.3%	0.0%
20～29歳(n=54)	3.7%	35.2%	42.6%	18.5%	0.0%
30～39歳(n=94)	3.2%	42.6%	37.2%	17.0%	0.0%
40～49歳(n=106)	8.5%	50.9%	30.2%	10.4%	0.0%
50～59歳(n=125)	16.0%	47.2%	30.4%	6.4%	0.0%
60～69歳(n=292)	26.4%	54.8%	16.4%	2.1%	0.3%
70～79歳(n=154)	29.9%	54.5%	9.7%	5.2%	0.6%
80歳以上(n=115)	33.0%	42.6%	16.5%	7.0%	0.9%

- 地域ごとの近所の方との付き合いをみると、各地域ともに「ある程度付き合っている」が最も高くなっています。
- 地域ごとに比較すると“近所の方との付き合いがある”と回答した割合は南郷地区が、“近所の方との付き合いはない”と回答した割合は不動堂地区が、それぞれ最も高くなっています。

図表 近所の方との付き合い（地区別）

	「近所の方との付き合いがある」		「近所の方との付き合いはない」		無回答
	親しく 付き合っている	ある程度 付き合っている	あまり 付き合っていない	まったく 付き合っていない	
小牛田地区(n=456)	22.6%	49.6%	21.5%	5.9%	0.4%
不動堂地区(n=288)	14.9%	47.6%	26.7%	10.8%	0.0%
南郷地区(n=203)	24.1%	52.2%	17.2%	5.9%	0.5%

“近所の方との付き合いがある”：「親しく付き合っている」、「ある程度付き合っている」と回答した方

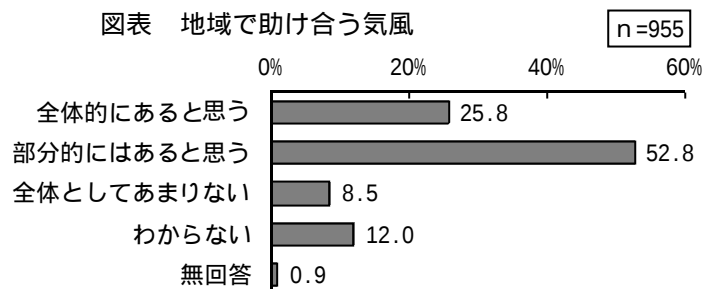
“近所の方との付き合いはない”：「あまり付き合っていない」、「まったく付き合っていない」と回答した方

(2) 地域で助け合う気風について

問 お住まいの地域には、困っている場合に助け合う気風がありますか。【1 つに ○ 】

- 回答者の地域で助け合う気風については、「部分的にはあると思う」が 52.8%と最も高くなっています。
- 「全体的にあると思う」(25.8%)、「部分的にはあると思う」(52.8%)を合わせた 8 割 (78.6%) の方は“ 助け合う気風がある ”と感じている一方で、「全体としてあまりない」感じている方は 1 割 (8.5%) となっています。

図表 地域で助け合う気風



	n=955	%
1 全体的にあると思う	246	25.8%
2 部分的にはあると思う	504	52.8%
3 全体としてあまりない	81	8.5%
4 わからない	115	12.0%
無回答	9	0.9%

- 性別による地域で助け合う気風をみると、男女ともに「部分的にはあると思う」が最も高くなっています。
- 年齢別においても、各年齢層で「部分的にはあると思う」が最も高く、性別や年齢に関わらず、“ 助け合う気風がある ”と感じていることがうかがえます。

図表 地域で助け合う気風 (性別・年齢別)

	高	← 助け合う気風がある →	低		
	全体的にあると思う	部分的にはあると思う	全体としてあまりない	わからない	無回答
男性 (n=367)	29.2%	49.0%	9.8%	11.2%	0.8%
女性 (n=575)	23.7%	55.3%	7.7%	12.9%	0.5%
20 歳未満 (n=11)	18.2%	63.6%	0.0%	18.2%	0.0%
20 ~ 29 歳 (n=54)	16.7%	51.9%	9.3%	22.2%	0.0%
30 ~ 39 歳 (n=94)	18.1%	45.7%	8.5%	27.7%	0.0%
40 ~ 49 歳 (n=106)	20.8%	59.4%	8.5%	11.3%	0.0%
50 ~ 59 歳 (n=125)	31.2%	46.4%	9.6%	12.8%	0.0%

	高	← 助け合う気風がある →	低		
	全体的に あると思う	部分的には あると思う	全体として あまりない	わからない	無回答
60～69歳(n=292)	25.7%	58.2%	9.2%	6.5%	0.3%
70～79歳(n=154)	29.9%	51.3%	7.8%	9.7%	1.3%
80歳以上(n=115)	31.3%	48.7%	6.1%	11.3%	2.6%

- 地域ごとの地域で助け合う気風をみると、各地域ともに「部分的にはあると思う」が最も高くなっています。
- 地域ごとに比較すると“助け合う気風がある”と回答した割合は南郷地区が最も高くなっています。

図表 地域で助け合う気風（地区別）

	高	← 助け合う気風がある →	低		
	全体的に あると思う	部分的には あると思う	全体として あまりない	わからない	無回答
小牛田地区(n=456)	31.4%	50.2%	7.0%	11.2%	0.2%
不動堂地区(n=288)	16.0%	55.6%	12.2%	15.3%	1.0%
南郷地区(n=203)	27.6%	55.2%	6.9%	9.4%	1.0%

“助け合う気風がある”：「全体的にあると思う」、「部分的にはあると思う」と回答した方

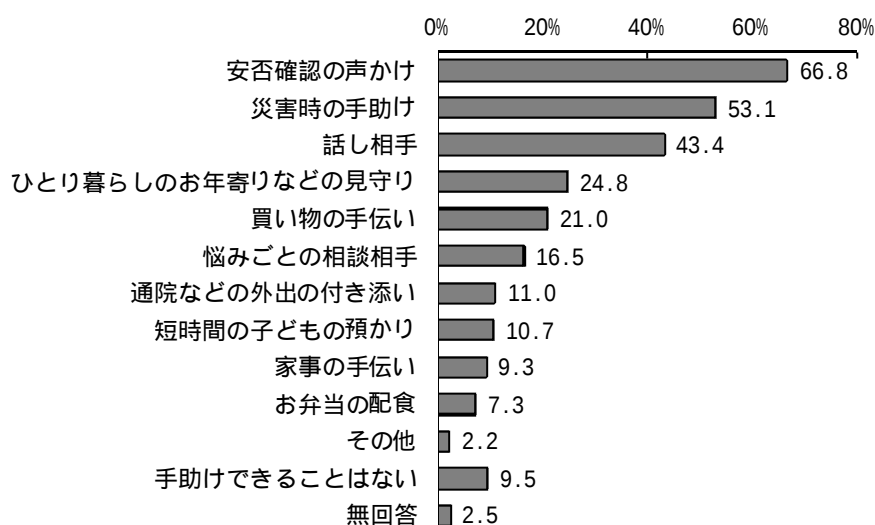
(3) 地域での手助けできること

問 ご近所とお付き合いの中で、困っている方がいたときに、あなたが「手助けできる」と思うことは、どのようなものがありますか。【あてはまるものすべてに○】

- 回答者の地域での手助けできることについては、「安否確認の声かけ」(66.8%) が最も高くなっています。次いで「災害時の手助け」(53.1%) 「話し相手」(43.4%) が上位に挙がっています。

図表 地域での手助けできること

n=955



グラフは上位順

	n=955	%
1 安否確認の声かけ	638	66.8%
2 話し相手	414	43.4%
3 買い物の手伝い	201	21.0%
4 家事の手伝い	89	9.3%
5 お弁当の配食	70	7.3%
6 悩みごとの相談相手	158	16.5%
7 通院などの外出の付き添い	105	11.0%
8 短時間の子どもの預かり	102	10.7%
9 ひとり暮らしのお年寄りなどの見守り	237	24.8%
10 災害時の手助け	507	53.1%
11 その他	21	2.2%
12 手助けできることはない	91	9.5%
無回答	24	2.5%

- 性別・年齢による地域での手助けできることをみると、男女ともに“手助けできることがある”と回答し、各年齢においても“手助けできることがある”と回答しています。

- 手助けできる内容では、男女ともに「安否確認の声かけ」、年齢別にみると、20 歳代では「災害時の手助け」、30～70 歳代では「安否確認の声かけ」、80 歳以上では「話し相手」を最上位に挙げています。

図表 地域での手助けできること（性別・年齢別）

	“ 手助けできることがある ”	“ 手助けできることはない ”	無回答
男性(n=367)	89.6%	8.7%	1.6%
女性(n=575)	87.3%	10.1%	2.6%
20 歳未満(n=11)	100.0%	0.0%	0.0%
20～29 歳(n=54)	92.6%	7.4%	0.0%
30～39 歳(n=94)	89.4%	10.6%	0.0%
40～49 歳(n=106)	90.6%	9.4%	0.0%
50～59 歳(n=125)	93.6%	4.8%	1.6%
60～69 歳(n=292)	94.2%	3.1%	2.7%
70～79 歳(n=154)	90.3%	6.5%	3.2%
80 歳以上(n=115)	59.1%	35.7%	5.2%

“ 手助けできることがある ”：選択肢 1～11 のいずれかに回答した方

“ 手助けできることはない ”：選択肢 12「手助けできることはない」と回答した方

図表 地域での手助けできる内容（性別・年齢別：上位 3 項目）

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
男性 (n=367)	安否確認の声かけ 67.0%	災害時の手助け 65.4%	話し相手 32.2%
女性 (n=575)	安否確認の声かけ 67.0%	話し相手 51.1%	災害時の手助け 45.4%
20 歳未満 (n=11)	災害時の手助け 63.6%	安否確認の声かけ 45.5%	話し相手 36.4%
20～29 歳 (n=54)	災害時の手助け 75.9%	安否確認の声かけ 66.7%	話し相手 55.6%
30～39 歳 (n=94)	安否確認の声かけ 66.0%	災害時の手助け 60.6%	話し相手 37.2%
40～49 歳 (n=106)	安否確認の声かけ 76.4%	災害時の手助け 63.2%	話し相手 38.7%
50～59 歳 (n=125)	安否確認の声かけ 80.8%	災害時の手助け 58.4%	話し相手 38.4%
60～69 歳 (n=292)	安否確認の声かけ 75.3%	災害時の手助け 59.6%	話し相手 43.8%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
70～79 歳 (n=154)	安否確認の声かけ 60.4%	話し相手 48.1%	災害時の手助け 44.8%
80 歳以上 (n=115)	話し相手 47.0%	安否確認の声かけ 34.8%	悩みごとの相談相手 19.1%

- 地域ごとの地域での手助けできることをみると、各地域ともに“手助けできることがある”と回答しています。
- 手助けできる内容では、各地区ともに「安否確認の声かけ」を最上位に挙げています。

図表 地域での手助けできること（地区別）

	“手助けできることがある”	“手助けできることはない”	無回答
小牛田地区 (n=456)	90.0%	7.9%	2.1%
不動堂地区 (n=288)	86.8%	12.1%	1.2%
南郷地区 (n=203)	87.7%	8.9%	3.4%

図表 地域での手助けできる内容（地区別：上位 3 項目）

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
小牛田地区 (n=456)	安否確認の声かけ 67.8%	災害時の手助け 54.4%	話し相手 45.4%
不動堂地区 (n=288)	安否確認の声かけ 64.9%	災害時の手助け 53.5%	話し相手 39.2%
南郷地区 (n=203)	安否確認の声かけ 69.0%	災害時の手助け 49.8%	話し相手 45.3%

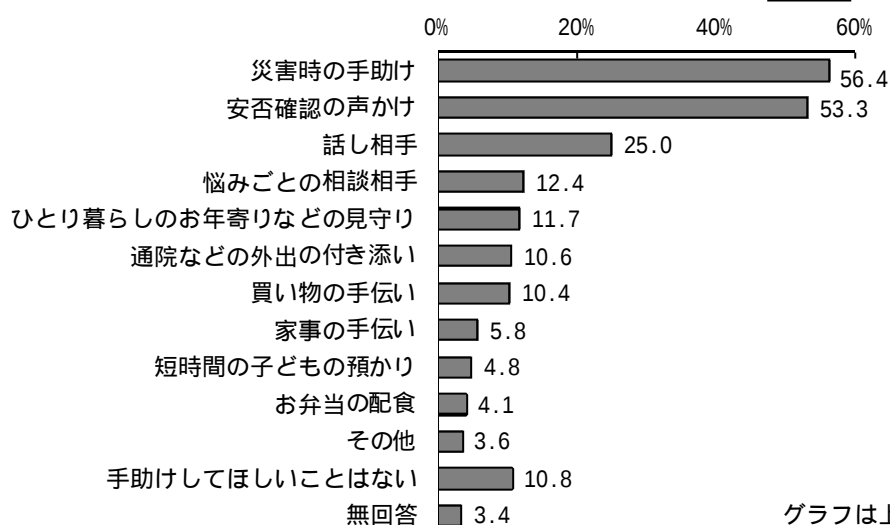
(4) 困ったときに手助けしてほしいこと

問 ご近所とお付き合いの中で、あなたやあなたの家族が困ったときに、「手助けしてほしい」と思うことは、どのようなものがありますか。【あてはまるものすべてに○】

- 回答者の困ったときに手助けしてほしいことについては、「災害時の手助け」(56.4%)が最も高くなっています。次いで「安否確認の声かけ」(53.3%)「話し相手」(25.0%)が上位に挙がっています。

図表 困ったときに手助けしてほしいこと

n=955



グラフは上位順に掲載

	n=955	%
1 安否確認の声かけ	509	53.3%
2 話し相手	239	25.0%
3 買い物の手伝い	99	10.4%
4 家事の手伝い	55	5.8%
5 お弁当の配食	39	4.1%
6 悩みごとの相談相手	118	12.4%
7 通院などの外出の付き添い	101	10.6%
8 短時間の子どもの預かり	46	4.8%
9 ひとり暮らしのお年寄りなどの見守り	112	11.7%
10 災害時の手助け	539	56.4%
11 その他	34	3.6%
12 手助けしてほしいことはない	103	10.8%
無回答	32	3.4%

- 性別・年齢による困ったときに手助けしてほしいことをみると、男女ともに“手助けしてほしいことがある”と回答し、各年齢においても“手助けしてほしいことがある”と回答しています。

- 手助けしてほしい内容では、男性は「災害時の手助け」、女性は「安否確認の声かけ」を最上位に挙げています。年齢別にみると、各年齢ともに「安否確認の声かけ」、または「災害時の手助け」を最上位に挙げています。
- 概ね回答全体と同様の意向がみられますが、20歳未満では「通院などの外出の付き添い」、20～29歳では「買い物の手伝い」、30～39歳では「短時間の子どもの預かり」といった支援を望む意向を上位に挙げています。

図表 困ったときに手助けしてほしいこと（性別・年齢別）

	“手助けしてほしいことがある” “手助けしてほしいことはない”		無回答
男性(n=367)	83.4%	13.9%	2.7%
女性(n=575)	88.0%	9.0%	3.0%
20歳未満(n=11)	90.9%	9.1%	0.0%
20～29歳(n=54)	77.8%	22.2%	0.0%
30～39歳(n=94)	83.0%	16.0%	1.1%
40～49歳(n=106)	87.7%	8.5%	3.8%
50～59歳(n=125)	89.6%	7.2%	3.2%
60～69歳(n=292)	87.7%	9.6%	2.7%
70～79歳(n=154)	87.7%	8.4%	3.9%
80歳以上(n=115)	81.7%	13.0%	5.2%

“手助けしてほしいことがある”：選択肢1～11のいずれかに回答した方

“手助けしてほしいことはない”：選択肢12「手助けしてほしいことはない」と回答した方

図表 困ったときに手助けしてほしいこと（性別・年齢別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
男性 (n=367)	災害時の手助け 62.1%	安否確認の声かけ 50.7%	話し相手 20.7%
女性 (n=575)	安否確認の声かけ 55.7%	災害時の手助け 53.4%	話し相手 28.0%
20歳未満 (n=11)	災害時の手助け 81.8%	安否確認の声かけ 45.5%	通院などの 外出の付き添い 18.2%
20～29歳 (n=54)	安否確認の声かけ 61.1%	話し相手 46.3%	買い物の手伝い 20.4%
30～39歳 (n=94)	災害時の手助け 64.9%	安否確認の声かけ 51.1%	短時間の子どもの預かり 21.3%
40～49歳 (n=106)	災害時の手助け 64.2%	安否確認の声かけ 61.3%	話し相手 23.6%
50～59歳 (n=125)	災害時の手助け 60.0%	安否確認の声かけ 56.8%	話し相手 22.4%

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
60～69 歳 (n=292)	災害時の手助け 59.2%	安否確認の声かけ 56.5%	話し相手 25.7%
70～79 歳 (n=154)	安否確認の声かけ 50.6%	災害時の手助け 48.7%	話し相手 28.6%
80 歳以上 (n=115)	安否確認の声かけ 45.2%	災害時の手助け 39.1%	話し相手 36.5%

- 地域ごとの困ったときに手助けしてほしいことをみると、各地域ともに“手助けしてほしいことがある”と回答しています。
- 手助けできる内容では、各地区ともに「災害時の手助け」を最上位に挙げています。

図表 困ったときに手助けしてほしいこと（地区別）

	“手助けしてほしいことがある” “手助けしてほしいことはない”		無回答
小牛田地区 (n=456)	89.1%	8.4%	2.6%
不動堂地区 (n=288)	81.7%	15.6%	2.7%
南郷地区 (n=203)	85.7%	10.3%	3.9%

図表 困ったときに手助けしてほしいこと（地区別：上位 3 項目）

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
小牛田地区 (n=456)	災害時の手助け 60.3%	安否確認の声かけ 55.5%	話し相手 29.2%
不動堂地区 (n=288)	災害時の手助け 50.0%	安否確認の声かけ 47.6%	話し相手 20.1%
南郷地区 (n=203)	安否確認の声かけ・災害時の手助け 57.6%		話し相手 23.2%

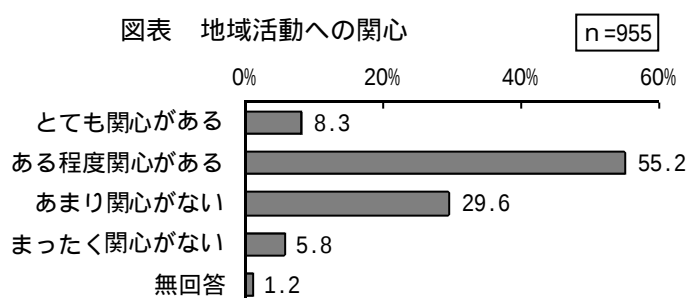
3 地域活動について

(1) 地域活動への関心

問 あなたは、地域福祉に関するボランティアや NPO 活動、地域活動に関心がありますか。
【1 つに○】

- 回答者の地域活動への関心は、「ある程度関心がある」が 55.2%と最も高くなっています。
- 「とても関心がある」(8.3%)、「ある程度関心がある」(55.2%)を合わせた 6 割 (63.5%)の方は“関心がある”と感じている一方で、「あまり関心がない」(29.6%)、「まったく関心がない」(5.8%)を合わせた 4 割近い方(35.4%)は、“関心がない”と感じています。

図表 地域活動への関心



	n=955	%
1 とても関心がある	79	8.3%
2 ある程度関心がある	527	55.2%
3 あまり関心がない	283	29.6%
4 まったく関心がない	55	5.8%
無回答	11	1.2%

- 性別による近所の方との付き合いをみると、男女ともに「ある程度関心がある」が最も高くなっています。
- 年齢別においては、20 歳未満、30 歳代では「あまり関心がない」が最も高くなっていますが、その他の年齢層では「ある程度関心がある」が最も高くなっています。

図表 地域福祉に関する活動への関心（性別・年齢別）

	“関心がある”		“関心がない”		無回答
	とても関心がある	ある程度関心がある	あまり関心がない	まったく関心がない	
男性(n=367)	8.7%	49.3%	34.6%	7.1%	0.3%
女性(n=575)	8.0%	59.7%	26.1%	5.0%	1.2%

図表 地域福祉に関する活動への関心（性別・年齢別）

	“関心がある”		“関心がない”		無回答
	とても 関心がある	ある程度 関心がある	あまり 関心がない	まったく 関心がない	
20歳未満(n=11)	9.1%	18.2%	54.5%	18.2%	0.0%
20～29歳(n=54)	5.6%	44.4%	27.8%	22.2%	0.0%
30～39歳(n=94)	3.2%	34.0%	53.2%	9.6%	0.0%
40～49歳(n=106)	1.9%	51.9%	38.7%	6.6%	0.9%
50～59歳(n=125)	4.0%	51.2%	40.0%	4.8%	0.0%
60～69歳(n=292)	8.2%	65.4%	24.0%	1.7%	0.7%
70～79歳(n=154)	15.6%	64.3%	14.9%	4.5%	0.6%
80歳以上(n=115)	14.8%	52.2%	24.3%	5.2%	3.5%

- 地域ごとの近所の方との付き合いをみると、各地域ともに「ある程度関心がある」が最も高くなっています。

図表 地域活動への関心（性別・年齢別）

	“関心がある”		“関心がない”		無回答
	とても 関心がある	ある程度 関心がある	あまり 関心がない	まったく 関心がない	
小牛田地区(n=456)	8.8%	56.1%	28.7%	5.5%	0.9%
不動堂地区(n=288)	6.9%	54.2%	30.9%	7.6%	0.3%
南郷地区(n=203)	8.9%	55.2%	30.5%	3.9%	1.5%

“関心がある”：「とても関心がある」、「ある程度関心がある」と回答した方

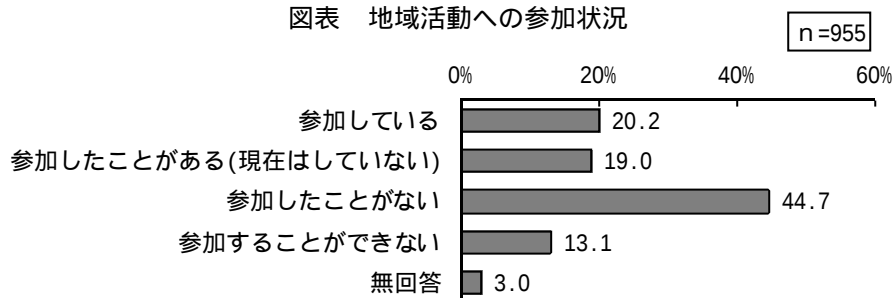
“関心がない”：「あまり関心がない」、「まったく関心がない」と回答した方

(2) 地域活動への参加状況

問 あなたは、地域福祉に関するボランティアや NPO 活動、地域活動に、どの程度参加していますか。【 1 つに ○ 】

- 回答者の地域活動への参加状況は、「参加したことがない」が 44.7% と最も高くなっています。
- 「参加している」(20.2%) 「参加したことがある」(19.0%) を合わせた 4 割(39.2%)の方は“参加経験がある”と回答している一方で、「参加したことがない」(44.7%) 「参加することができない」(13.1%) を合わせた 6 割(57.8%)の方は、“参加経験はない”と回答しています。

図表 地域活動への参加状況



	n=955	%
1 参加している	193	20.2%
2 参加したことがある(現在はしていない)	181	19.0%
3 参加したことがない	427	44.7%
4 参加することができない	125	13.1%
無回答	29	3.0%

- 性別による地域活動への参加状況をみると、“参加経験がある”と回答した割合は、男性では 44.5%、女性では 35.8% と、男女に差がみられます。
- 年齢別に“参加経験がある”と回答した割合をみると、20 歳未満から 70 歳代にかけて概ね高まる傾向にあり、70 歳代では 5 割(48.7%)を占めていますが、80 歳では 4 割(40.9%)となっています。

図表 地域活動への参加状況(性別)

	“参加経験がある”		“参加経験はない”		無回答
	参加している	参加したことがある	参加したことがない	参加することができない	
男性(n=367)	24.3%	20.2%	43.9%	9.0%	2.7%
女性(n=575)	17.7%	18.1%	45.2%	15.8%	3.1%

“参加経験がある”：「参加している」、「参加したことがある」と回答した方

“参加経験はない”：「参加したことがない」、「参加することができない」と回答した方

図表 地域活動への参加状況（年齢別）

	“参加経験がある”		“参加経験はない”		無回答
	参加している	参加したことがある	参加したことがない	参加することができない	
男性(n=367)	24.3%	20.2%	43.9%	9.0%	2.7%
女性(n=575)	17.7%	18.1%	45.2%	15.8%	3.1%
20歳未満(n=11)	0.0%	27.3%	63.6%	9.1%	0.0%
20～29歳(n=54)	9.3%	9.3%	70.4%	9.3%	1.9%
30～39歳(n=94)	8.5%	17.0%	60.6%	13.8%	0.0%
40～49歳(n=106)	17.9%	17.9%	53.8%	9.4%	0.9%
50～59歳(n=125)	23.2%	12.0%	56.0%	8.8%	0.0%
60～69歳(n=292)	24.7%	20.5%	40.4%	11.6%	2.7%
70～79歳(n=154)	27.3%	21.4%	34.4%	12.3%	4.5%
80歳以上(n=115)	15.7%	25.2%	22.6%	27.0%	9.6%

- 地域ごとの地域活動への参加状況をみると、“参加経験がある”と回答した割合は、小牛田地区、不動堂地区では37.9%、南郷地区では43.3%を占めています。

図表 地域活動への参加状況（地区別）

	“参加経験がある”		“参加経験はない”		無回答
	参加している	参加したことがある	参加したことがない	参加することができない	
小牛田地区(n=456)	19.7%	18.2%	46.5%	13.2%	2.4%
不動堂地区(n=288)	18.1%	19.8%	44.8%	14.9%	2.4%
南郷地区(n=203)	24.6%	18.7%	40.9%	10.8%	4.9%

“参加経験がある”：「参加している」、「参加したことがある」と回答した方

“参加経験はない”：「参加したことがない」、「参加することができない」と回答した方

(3) 活動内容・きっかけ

問 前問で「1.参加している」、「2.参加したことがある（現在はしていない）」と回答した方のみお答え下さい。

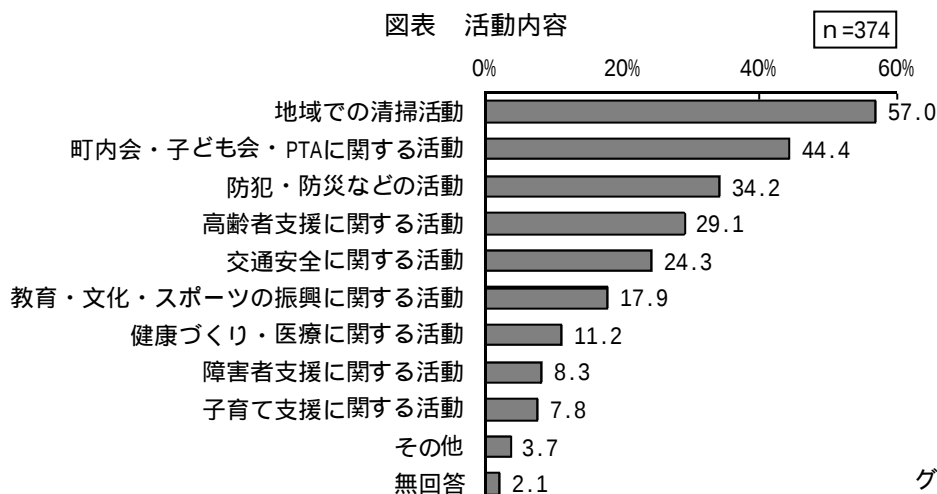
どのような活動をしていますか（しましたか）【 あてはまるものすべてに。 】

活動のきっかけはどのような理由ですか。【 あてはまるもの3つまでに。 】

活動内容

- 前問で「参加している」、「参加したことがある」と回答した方（n=374）の参加経験のある活動については、「地域での清掃活動」が57.0%と最も高くなっています。次いで「町内会・子ども会・PTAに関する活動」（44.4%）「防犯・防災などの活動」（34.2%）が上位に挙がっています。

図表 活動内容



	n=374	%
1 高齢者支援に関する活動	109	29.1%
2 障害者支援に関する活動	31	8.3%
3 子育て支援に関する活動	29	7.8%
4 健康づくり・医療に関する活動	42	11.2%
5 町内会・子ども会・PTAに関する活動	166	44.4%
6 教育・文化・スポーツの振興に関する活動	67	17.9%
7 地域での清掃活動	213	57.0%
8 防犯・防災などの活動	128	34.2%
9 交通安全に関する活動	91	24.3%
10 その他	14	3.7%
無回答	8	2.1%

- 性別による参加経験のある活動をみると、男女ともに「地域での清掃活動」が最も高くなっています。
- 年齢別による参加経験のある活動をみると、回答全体と同様に、各年齢層で概ね「地域での清掃活動」、「町内会・子ども会・PTA に関する活動」、「防犯・防災などの活動」を上位に挙げています。そのほかにも 20 歳未満、30 歳代、70 歳代、80 歳以上では「高齢者支援に関する活動」、30 歳代では「教育・文化・スポーツの振興に関する活動」、40 歳代、80 歳以上では「交通安全に関する活動」をそれぞれ上位に挙げています。

図表 活動内容（性別・年齢別：上位 3 項目）

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
男性 (n=163)	地域での清掃活動 61.3%	町内会・子ども会・PTA に関する活動 45.4%	防犯・防災などの活動 42.9%
女性 (n=206)	地域での清掃活動 53.4%	町内会・子ども会・PTA に関する活動 44.2%	高齢者支援に関する活動 34.5%
20 歳未満 (n=3)	地域での清掃活動 66.7%	高齢者支援に関する活動 33.3%	-
20～29 歳 (n=10)	町内会・子ども会・PTA に関する活動、 40.0%		防犯・防災などの活動 20.0%
30～39 歳 (n=24)	町内会・子ども会・PTA に関する活動 地域での清掃活動 45.8%	高齢者支援に関する活動 教育・文化・スポーツの振興に関する活動 16.7%	
40～49 歳 (n=38)	町内会・子ども会・PTA に関する活動 地域での清掃活動 60.5%	防犯・防災などの活動 交通安全に関する活動 26.3%	
50～59 歳 (n=44)	地域での清掃活動 65.9%	町内会・子ども会・PTA に関する活動 59.1%	防犯・防災などの活動 45.5%
60～69 歳 (n=132)	地域での清掃活動 58.3%	町内会・子ども会・PTA に関する活動 50.8%	防犯・防災などの活動 40.9%
70～79 歳 (n=75)	地域での清掃活動 58.7%	高齢者支援に関する活動 38.7%	防犯・防災などの活動 37.3%
80 歳以上 (n=47)	高齢者支援に関する活動 51.1%	地域での清掃活動 48.9%	交通安全に関する活動 40.4%

- 地域ごとの参加経験のある活動をみると、各地域ともに「地域での清掃活動」が最も高くなっています。

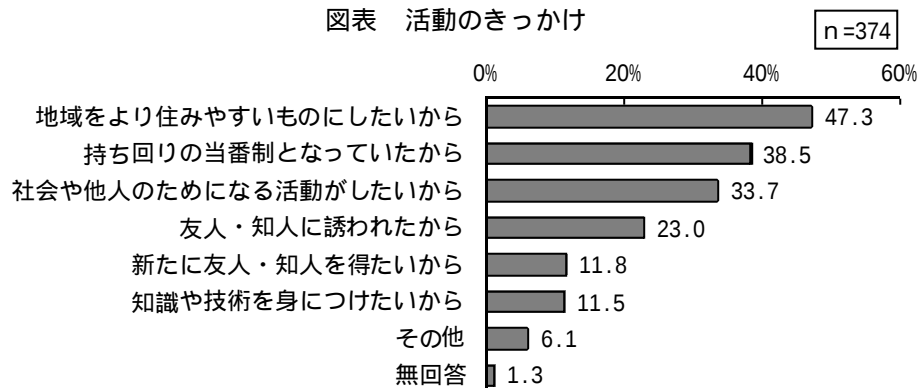
図表 活動内容（地区別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
小牛田地区 (n=173)	地域での清掃活動 54.9%	町内会・子ども会・PTAに 関する活動 44.5%	防犯・防災などの活動 32.9%
不動堂地区 (n=109)	地域での清掃活動 56.9%	町内会・子ども会・PTAに 関する活動 47.7%	防犯・防災などの活動 34.9%
南郷地区 (n=88)	地域での清掃活動 61.4%	町内会・子ども会・PTAに 関する活動 39.8%	交通安全に関する活動 37.5%

活動のきっかけ

- 前問で「参加している」、「参加したことがある」と回答した方（n=374）の活動のきっかけは、「地域をより住みやすいものにしたいから」が47.3%と最も高くなっています。次いで「持ち回りの当番制となっていたから」（38.5%）、「社会や他人のためになる活動がしたいから」（33.7%）が上位に挙がっています。

図表 活動のきっかけ



	n=374	%
1 地域をより住みやすいものにしたいから	177	47.3%
2 社会や他人のためになる活動がしたいから	126	33.7%
3 知識や技術を身につけたいから	43	11.5%
4 新たに友人・知人を得たいから	44	11.8%
5 持ち回りの当番制となっていたから	144	38.5%
6 友人・知人に誘われたから	86	23.0%
7 その他	23	6.1%
無回答	5	1.3%

- 性別による活動のきっかけをみると、男性では「地域をより住みやすいものにしたいから」(57.1%)、女性では「持ち回りの当番制となっていたから」(42.7%)がそれぞれ最も高くなっています。
- 年齢別による活動のきっかけをみると、20歳未満では「知識や技術を身につけたいから」、「友人・知人に誘われたから」、20歳代では「社会や他人のためになる活動がしたいから」、30歳代では「持ち回りの当番制となっていたから」、40歳代、50歳代では「持ち回りの当番制となっていたから」、60歳代、70歳代、80歳以上では「地域をより住みやすいものにしたいから」がそれぞれ最も高くなっています。

図表 活動のきっかけ（性別・年齢別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
男性 (n=163)	地域をより住みやすいものにしたいから 57.1%	社会や他人のためになる活動がしたいから 36.2%	持ち回りの当番制となっていたから 33.1%
女性 (n=206)	持ち回りの当番制となっていたから 42.7%	地域をより住みやすいものにしたいから 40.3%	社会や他人のためになる活動がしたいから 32.5%
20歳未満 (n=3)	知識や技術を身につけたいから 友人・知人に誘われたから 33.3%		-
20～29歳 (n=10)	社会や他人のためになる活動がしたいから 50.0%	地域をより住みやすいものにしたいから 友人・知人に誘われたから 30.0%	
30～39歳 (n=24)	持ち回りの当番制となっていたから 37.5%	社会や他人のためになる活動がしたいから 29.2%	地域をより住みやすいものにしたいから 20.8%
40～49歳 (n=38)	持ち回りの当番制となっていたから 63.2%	地域をより住みやすいものにしたいから 34.2%	社会や他人のためになる活動がしたいから 15.8%
50～59歳 (n=44)	持ち回りの当番制となっていたから	地域をより住みやすいものにしたいから	友人・知人に誘われたから
60～69歳 (n=132)	地域をより住みやすいものにしたいから 56.0%	社会や他人のためになる活動がしたいから 46.7%	持ち回りの当番制となっていたから 28.0%
70～79歳 (n=75)	地域をより住みやすいものにしたいから 56.0%	社会や他人のためになる活動がしたいから 46.7%	持ち回りの当番制となっていたから 28.0%
80歳以上 (n=47)	地域をより住みやすいものにしたいから 63.8%	社会や他人のためになる活動がしたいから 53.2%	持ち回りの当番制となっていたから 21.3%

- 地域ごとの活動のきっかけでは、各地域ともに「地域をより住みやすいものにした
いから」が最も高くなっています。

図表 活動のきっかけ（地区別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
小牛田地区 (n=173)	地域をより住みやすいもの にしたいから 46.8%	持ち回りの当番制となっ ていたから 36.4%	社会や他人のためになる 活動がしたいから 34.7%
不動堂地区 (n=109)	地域をより住みやすいもの にしたいから 46.8%	社会や他人のためになる 活動がしたいから 35.8%	持ち回りの当番制となっ ていたから 34.9%
南郷地区 (n=88)	地域をより住みやすいもの にしたいから 50.0%	持ち回りの当番制となっ ていたから 46.6%	社会や他人のためになる 活動がしたいから 30.7%

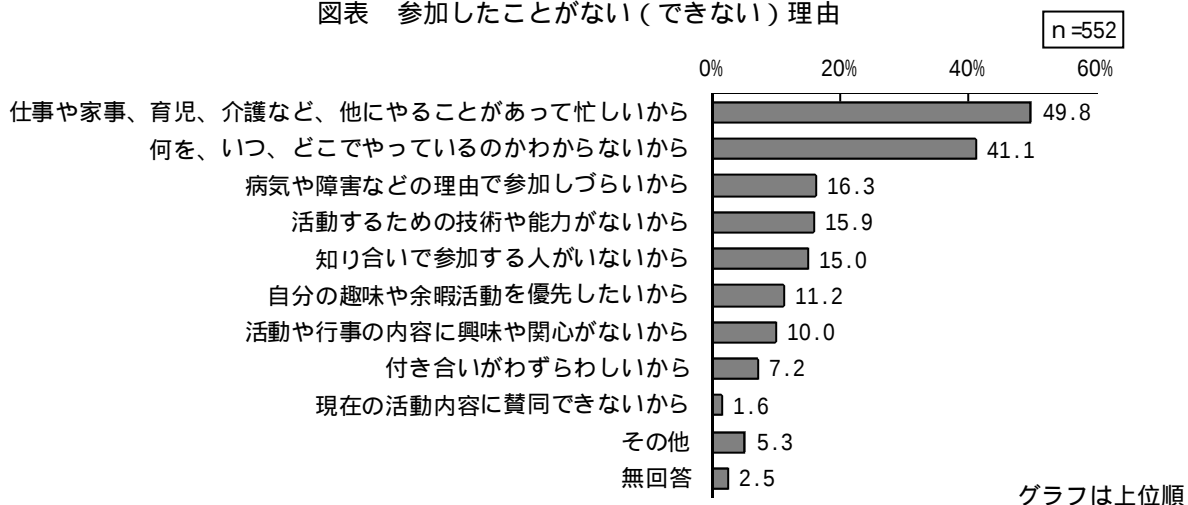
(4) 参加したことがない (できない) 理由

問 前問で「3. 参加したことがない」、「4. 参加することができない」と回答した方のみお答え下さい。

参加したことがない (できない) 理由は何ですか。【 あてはまるものすべてに ○ 】

- 前問で「参加したことがない」、「参加することができない」と回答した方 (n=552) の参加したことがない (できない) 理由は、「仕事や家事、育児、介護など、他にやることがあって忙しいから」(49.8%)と最も高くなっています。次いで「何を、いつ、どこでやっているのかわからないから」(41.1%)、「病気や障害などの理由で参加しづらいから」(16.3%)が上位に挙がっています。

図表 参加したことがない (できない) 理由



	n=552	%
1 活動や行事の内容に興味や関心がないから	55	10.0%
2 何を、いつ、どこでやっているのかわからないから	227	41.1%
3 病気や障害などの理由で参加しづらいから	90	16.3%
4 知り合いで参加する人がいないから	83	15.0%
5 仕事や家事、育児、介護など、他にやることがあって忙しいから	275	49.8%
6 自分の趣味や余暇活動を優先したいから	62	11.2%
7 活動するための技術や能力がないから	88	15.9%
8 現在の活動内容に賛同できないから	9	1.6%
9 付き合いがわずらわしいから	40	7.2%
10 その他	29	5.3%
無回答	14	2.5%

- 性別による参加したことがない（できない）理由をみると、男女ともに「仕事や家事、育児、介護など、他にやることがあって忙しいから」が、男性で50.5%、女性で49.6%と最も高くなっています。
- 年齢別による参加したことがない（できない）理由をみると、20歳未満、20歳代では「何を、いつ、どこでやっているのかわからないから」、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代では「仕事や家事、育児、介護など、他にやることがあって忙しいから」、70歳代、80歳以上では「病気や障害などの理由で参加しづらいから」がそれぞれ最も高くなっています。

図表 参加したことがない（できない）理由（性別・年齢別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
男性 (n=194)	他にやることがあって 忙しいから 50.5%	何を、いつ、どこでやっ ているのかわからないから 41.8%	興味や関心がないから 16.5%
女性 (n=351)	他にやることがあって 忙しいから 49.6%	何を、いつ、どこでやっ ているのかわからないから 41.0%	技術や能力がないから 18.5%
20歳未満 (n=8)	何を、いつ、どこでやっ ているのかわからないから 62.5%	他にやることがあって 忙しいから 50.0%	興味や関心がないから 技術や能力がないから 37.5%
20～29歳 (n=43)	何を、いつ、どこでやっ ているのかわからないから 62.8%	他にやることがあって 忙しいから 53.5%	自分の趣味や余暇活動を 優先したいから 25.6%
30～39歳 (n=70)	他にやることがあって 忙しいから 74.3%	何を、いつ、どこでやっ ているのかわからないから 58.6%	知り合いで参加する人が いないから 22.9%
40～49歳 (n=67)	他にやることがあって 忙しいから 67.2%	何を、いつ、どこでやっ ているのかわからないから 55.2%	自分の趣味や余暇活動を 優先したいから 17.9%
50～59歳 (n=81)	他にやることがあって 忙しいから 65.4%	何を、いつ、どこでやっ ているのかわからないから 40.7%	技術や能力がないから 17.3%
60～69歳 (n=152)	他にやることがあって 忙しいから 52.0%	何を、いつ、どこでやっ ているのかわからないから 34.9%	病気や障害などの理由で 参加しづらいから 17.1%
70～79歳 (n=72)	病気や障害などの理由で 参加しづらいから 37.5%	何を、いつ、どこでやっ ているのかわからないから 29.2%	他にやることがあって 忙しいから 19.4%
80歳以上 (n=57)	病気や障害などの理由で 参加しづらいから 52.6%	何を、いつ、どこでやっ ているのかわからないから 17.5%	技術や能力がないから 12.3%

- 地域ごとの参加したことがない(できない)理由をみると、各地域ともに「仕事や家事、育児、介護など、他にやることがあって忙しいから」が最も高くなっています。

図表 参加したことがない(できない)理由(地区別：上位3項目)

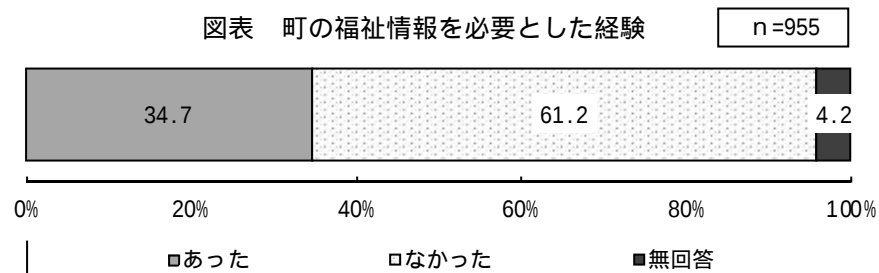
	第1位	第2位	第3位
小牛田地区 (n=272)	他にやることがあって 忙しいから 47.1%	何を、いつ、どこでやって いるのかわからないから 40.1%	技術や能力がないから 16.5%
不動堂地区 (n=172)	他にやることがあって 忙しいから 52.9%	何を、いつ、どこでやって いるのかわからないから 44.2%	病気や障害などの理由で 参加しづらいから 19.2%
南郷地区 (n=105)	他にやることがあって 忙しいから 52.4%	何を、いつ、どこでやって いるのかわからないから 39.0%	技術や能力がないから 19.0%

4 町の福祉情報の入手について

(1) 町の福祉情報を必要とした経験

問 あなたはこれまで、保育サービスや高齢者、障害者への福祉サービスなど、町の福祉情報を必要としたときがありましたか。【 1 つに○ 】

- 回答者の町の福祉情報を必要とした経験は、「あった」が 34.7%、「なかった」が 61.2%となっています。



	n=955	%
1 あった	331	34.7%
2 なかった	584	61.2%
無回答	40	4.2%

- 性別による町の福祉情報を必要とした経験をみると、「あった」と回答した割合は、男性では 30.5%、女性では 37.6%となっています。
- 年齢別による町の福祉情報を必要とした経験をみると、「あった」と回答した割合は、30 歳代 (45.7%)、50 歳代 (40.0%)、60 歳代 (39.0%) に、特に高くみられます。

図表 町の福祉情報を必要とした経験 (性別・年齢別)

	あった	なかった	無回答
男性(n=367)	30.5%	66.5%	3.0%
女性(n=575)	37.6%	57.7%	4.7%
20 歳未満(n=11)	0.0%	100.0%	0.0%
20 ~ 29 歳(n=54)	18.5%	81.5%	0.0%
30 ~ 39 歳(n=94)	45.7%	54.3%	0.0%
40 ~ 49 歳(n=106)	34.9%	65.1%	0.0%
50 ~ 59 歳(n=125)	40.0%	59.2%	0.8%
60 ~ 69 歳(n=292)	39.0%	58.9%	2.1%
70 ~ 79 歳(n=154)	22.1%	70.1%	7.8%
80 歳以上(n=115)	36.5%	46.1%	17.4%

- 地域ごとの町の福祉情報を必要とした経験をみると、「あった」と回答した割合は、小牛田地区では34.0%、不動堂地区では34.0%、南郷地区では37.9%となっています。

図表 町の福祉情報を必要とした経験（地区別）

	あった	なかった	無回答
小牛田地区 (n=456)	34.0%	61.6%	4.4%
不動堂地区 (n=288)	34.0%	63.9%	2.1%
南郷地区 (n=203)	37.9%	56.2%	5.9%

- 同居家族の世帯状況別の町の福祉情報を必要とした経験をみると、「あった」と回答した割合は、未就学児童のいる世帯では55.6%、介護の必要な方のいる世帯では60.5%と特に高くなっています。

図表 町の福祉情報を必要とした経験（同居家族の世帯状況別）

	あった	なかった	無回答
未就学児童のいる世帯 (n=108)	55.6%	41.7%	2.8%
児童・生徒のいる世帯 (n=191)	43.5%	51.8%	4.7%
65歳以上のいる世帯 (n=441)	37.6%	60.1%	2.3%
介護の必要な方のいる世帯 (n=185)	60.5%	35.1%	4.3%

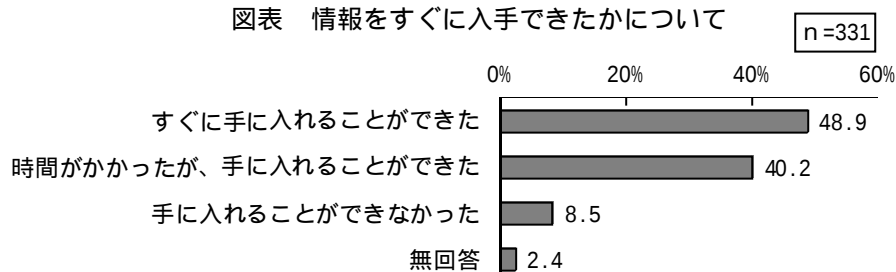
(2) 情報入手・手段について

問 前問で「1. あった」と回答した方のみお答え下さい。
 必要としたとき、すぐに入手できましたか。【 1 つに ○ 】
 情報をどこで手に入れましたか（入れようとしたか）。
 【 あてはまるものすべてに ○ 】

すぐに入手できたかについて

- 前問で「あった」と回答した方（n=331）のすぐに入手できたかについては、「すぐに手に入れることができた」（48.9%）「時間がかかったが、手に入れることができた」（40.2%）を合わせた 9 割（89.1%）が必要な福祉情報を“入手できた”と回答しています。
- 一方で「手に入れることができなかった」割合は 1 割（8.5%）を占めています。

図表 情報をすぐに入手できたかについて



	n=331	%
1 すぐに手に入れることができた	162	48.9%
2 時間がかかったが、手に入れることができた	133	40.2%
3 手に入れることができなかった	28	8.5%
無回答	8	2.4%

- 性別による必要な福祉情報をすぐに入手できたかについてみると、男女ともに 9 割が“入手できた”と回答していますが、「手に入れることができなかった」割合は、女性が 9.3%と男性（6.3%）よりも高くなっています。
- 年齢別による必要な福祉情報をすぐに入手できたかについてみると、「手に入れることができなかった」割合は、30 歳代で 2 割（18.6%）と特に高くなっています。

図表 すぐに入手できたかについて（性別）

必要な福祉情報を“入手できた”				
	すぐに手に入れることができた	時間がかかったが、手に入れることができた	手に入れることができなかった	無回答
男性(n=112)	48.2%	43.8%	6.3%	1.8%
女性(n=216)	50.0%	38.9%	9.3%	1.9%

“入手できた”：「すぐに手に入れることができた」、「時間がかかったが、手に入れることができた」と回答した方

図表 すぐに入手できたかについて（年齢別）

	必要な福祉情報を「入手できた」			無回答
	すぐに手に入れることができた	時間がかかったが、手に入れることができた	手に入れることができなかった	
20 歳未満(n=0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20～29 歳(n=10)	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
30～39 歳(n=43)	46.5%	34.9%	18.6%	0.0%
40～49 歳(n=37)	59.5%	29.7%	5.4%	5.4%
50～59 歳(n=50)	54.0%	40.0%	4.0%	2.0%
60～69 歳(n=114)	43.0%	46.5%	9.6%	0.9%
70～79 歳(n=34)	47.1%	44.1%	2.9%	5.9%
80 歳以上(n=42)	54.8%	33.3%	9.5%	2.4%

- 地域ごとの必要な福祉情報をすぐに入手できたかについてみると、「手に入れることができなかった」割合は、小牛田地区で 11.6%と他の地区よりも高くなっています。

図表 すぐに入手できたかについて（地区別）

	必要な福祉情報を「入手できた」			無回答
	すぐに手に入れることができた	時間がかかったが、手に入れることができた	手に入れることができなかった	
小牛田地区(n=155)	44.5%	41.9%	11.6%	1.9%
不動堂地区(n=98)	54.1%	37.8%	5.1%	3.1%
南郷地区(n=77)	51.9%	40.3%	6.5%	1.3%

- 同居家族の世帯状況別の必要な福祉情報をすぐに入手できたかについてみると、「手に入れることができなかった」割合は、未就学児童のいる世帯では 13.3%、介護の必要な方のいる世帯では 11.6%と特に高くなっています。

図表 すぐに入手できたかについて（同居家族の世帯状況別）

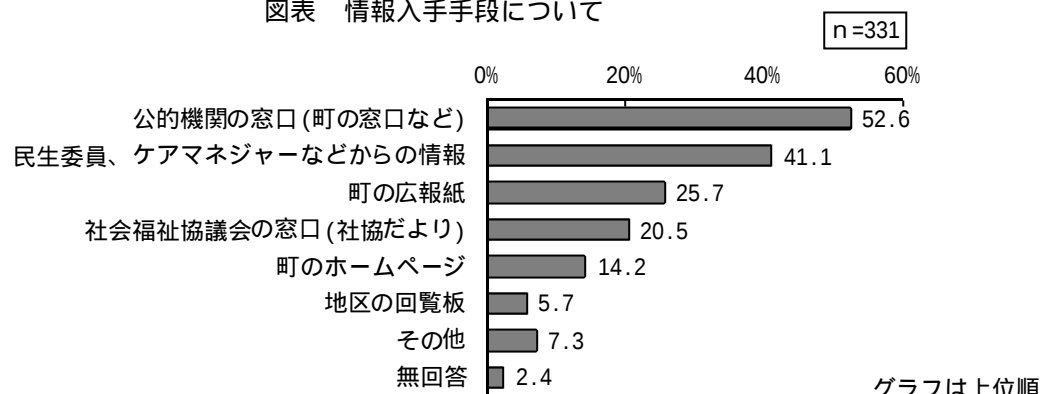
	必要な福祉情報を「入手できた」			無回答
	すぐに手に入れることができた	時間がかかったが、手に入れることができた	手に入れることができなかった	
未就学児童のいる世帯(n=60)	48.3%	33.3%	13.3%	5.0%
児童・生徒のいる世帯(n=83)	53.0%	34.9%	7.2%	4.8%
65 歳以上のいる世帯(n=166)	51.2%	41.0%	6.0%	1.8%
介護の必要な方のいる世帯(n=112)	46.4%	40.2%	11.6%	1.8%

“入手できた”：「すぐに手に入れることができた」、「時間がかかったが、手に入れることができた」と回答した方

情報入手手段について

- 前問で「あった」と回答した方（n=331）の情報入手手段については、「公的機関の窓口（町の窓口など）」が52.6%と最も高くなっています。次いで「民生委員、ケアマネジャーなどからの情報」（41.1%）、「町の広報紙」（25.7%）が上位に挙がっています。

図表 情報入手手段について



	n=331	%
1 公的機関の窓口（町の窓口など）	174	52.6%
2 社会福祉協議会の窓口（社協だより）	68	20.5%
3 町のホームページ	47	14.2%
4 町の広報紙	85	25.7%
5 民生委員、ケアマネジャーなどからの情報	136	41.1%
6 地区の回覧板	19	5.7%
7 その他	24	7.3%
無回答	8	2.4%

- 性別による情報入手手段をみると、男女ともに「公的機関の窓口（町の窓口など）」が最も高くなっています。
- 年齢別による情報入手手段をみると、20歳未満では該当がなく、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代では「公的機関の窓口（町の窓口など）」、70歳代、80歳以上では「民生委員、ケアマネジャーなどからの情報」がそれぞれ最も高くなっています。

図表 情報入手手段について（性別・年齢別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
男性 (n=112)	公的機関の窓口 58.0%	民生委員、ケアマネジャーなど 42.9%	社会福祉協議会の窓口 町の広報紙 25.0%
女性 (n=216)	公的機関の窓口 50.5%	民生委員、ケアマネジャーなど 39.8%	町の広報紙 26.4%

図表 情報入手手段について（性別・年齢別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
20歳未満 (n=0)	-	-	-
20～29歳 (n=10)	公的機関の窓口 70.0%	町の広報紙 60.0%	町のホームページ 40.0%
30～39歳 (n=43)	公的機関の窓口 53.5%	町のホームページ 46.5%	町の広報紙 41.9%
40～49歳 (n=37)	公的機関の窓口 67.6%	町の広報紙 32.4%	民生委員、ケアマネジャーなど 24.3%
50～59歳 (n=50)	公的機関の窓口 50.0%	民生委員、ケアマネジャーなど 38.0%	町の広報紙 24.0%
60～69歳 (n=114)	公的機関の窓口 51.8%	民生委員、ケアマネジャーなど 48.2%	社会福祉協議会の窓口 21.9%
70～79歳 (n=34)	民生委員、ケアマネジャーなど 55.9%	公的機関の窓口 52.9%	社会福祉協議会の窓口 23.5%
80歳以上 (n=42)	民生委員、ケアマネジャーなど 52.4%	公的機関の窓口 40.5%	社会福祉協議会の窓口 35.7%

- 地域ごとの情報入手手段をみると、小牛田地区、不動堂地区では「公的機関の窓口（町の窓口など）」、南郷地区では「民生委員、ケアマネジャーなどからの情報」が、それぞれ最も高くなっています。

図表 情報入手手段について（地区別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
小牛田地区 (n=155)	公的機関の窓口 56.1%	民生委員、ケアマネジャーなど 43.9%	町の広報紙 25.8%
不動堂地区 (n=98)	公的機関の窓口 57.1%	民生委員、ケアマネジャーなど 31.6%	町の広報紙 24.5%
南郷地区 (n=77)	民生委員、ケアマネジャーなど 46.8%	公的機関の窓口 40.3%	社会福祉協議会の窓口 28.6%

- 同居家族の世帯状況別の情報入手手段をみると、「公的機関の窓口(町の窓口など)」いずれも最も高くなっています。

図表 情報入手手段について(同居家族の世帯状況別：上位3項目)

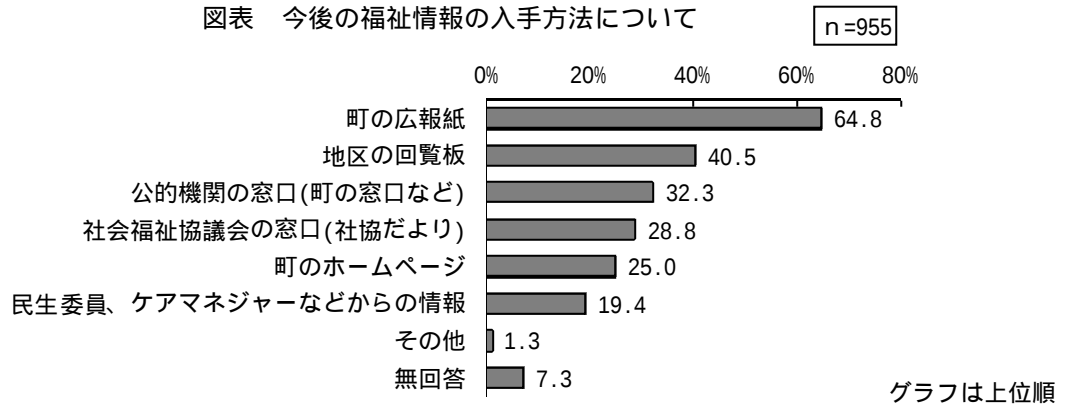
	第1位	第2位	第3位
未就学児童のいる世帯 (n=60)	公的機関の窓口 61.7%	町の広報紙 43.3%	町のホームページ 35.0%
児童・生徒のいる世帯 (n=83)	公的機関の窓口 53.0%	町の広報紙・民生委員、ケアマネジャーなど 36.1%	
65歳以上のいる世帯 (n=166)	公的機関の窓口 58.4%	民生委員、ケアマネジャーなど 43.4%	町の広報紙 29.5%
介護の必要な方のいる世帯 (n=112)	公的機関の窓口 53.6%	民生委員、ケアマネジャーなど 51.8%	社会福祉協議会の窓口 21.4%

(3) 今後の福祉情報の入手方法について

問 今後、町の福祉情報をどのような方法で入手したいですか。【主なもの3つまでに○】

- 回答者の今後の福祉情報の入手方法については、「町の広報紙」が64.8%と最も高くなっています。次いで「地区の回覧板」(40.5%)、「公的機関の窓口(町の窓口など)」(32.3%)が上位に挙がっています。

図表 今後の福祉情報の入手方法について



	n=955	%
1 公的機関の窓口(町の窓口など)	308	32.3%
2 社会福祉協議会の窓口(社協だより)	275	28.8%
3 町のホームページ	239	25.0%
4 町の広報紙	619	64.8%
5 民生委員、ケアマネジャーなどからの情報	185	19.4%
6 地区の回覧板	387	40.5%
7 その他	12	1.3%
無回答	70	7.3%

- 性別による回答者の今後の福祉情報の入手方法をみると、男女ともに「町の広報紙」が、最も高くなっています。
- 年齢別による回答者の今後の福祉情報の入手方法についても「町の広報紙」が、それぞれ最も高くなっています。

図表 今後の福祉情報の入手方法について（性別・年齢別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
男性 (n=367)	町の広報紙 65.9%	地区の回覧板 39.8%	公的機関の窓口 31.1%
女性 (n=575)	町の広報紙 65.0%	地区の回覧板 41.0%	公的機関の窓口 33.2%
20歳未満 (n=11)	町の広報紙・地区の回覧板 63.6%		町のホームページ 54.5%
20～29歳 (n=54)	町の広報紙 66.7%	町のホームページ 48.1%	地区の回覧板 35.2%
30～39歳 (n=94)	町の広報紙 68.1%	町のホームページ 55.3%	地区の回覧板 37.2%
40～49歳 (n=106)	町の広報紙 70.8%	町のホームページ 38.7%	公的機関の窓口 37.7%
50～59歳 (n=125)	町の広報紙 68.8%	地区の回覧板 40.0%	公的機関の窓口 39.2%
60～69歳 (n=292)	町の広報紙 69.5%	地区の回覧板 44.9%	公的機関の窓口 36.6%
70～79歳 (n=154)	町の広報紙 57.8%	地区の回覧板 47.4%	社会福祉協議会の窓口 40.3%
80歳以上 (n=115)	町の広報紙 50.4%	民生委員、ケアマネジャーなど 38.3%	地区の回覧板 30.4%

- 地域ごとの回答者の今後の福祉情報の入手方法をみると、各地域ともに「町の広報紙」が最も高くなっています。

図表 今後の福祉情報の入手方法について（地区別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
小牛田地区 (n=456)	町の広報紙 64.5%	地区の回覧板 42.5%	公的機関の窓口 35.7%
不動堂地区 (n=288)	町の広報紙 69.4%	地区の回覧板 42.4%	公的機関の窓口 30.6%
南郷地区 (n=203)	町の広報紙 60.1%	社会福祉協議会の窓口 36.0%	地区の回覧板 33.5%

- 同居家族による回答者の今後の福祉情報の入手方法をみると、未就学児童のいる世帯、児童・生徒のいる世帯、65 歳以上のいる世帯、介護の必要な方のいる世帯ともに、「町の広報紙」が最も高くなっています。

図表 今後の福祉情報の入手方法について（同居家族の世帯状況別：上位 3 項目）

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
未就学児童 のいる世帯 (n=108)	町の広報紙 72.2%	町のホームページ 39.8%	公的機関の窓口 38.9%
児童・生徒 のいる世帯 (n=191)	町の広報紙 70.7%	地区の回覧板 36.1%	町のホームページ 34.6%
65 歳以上 のいる世帯 (n=441)	町の広報紙 68.5%	地区の回覧板 41.5%	公的機関の窓口 36.3%
介護の必要な方 のいる世帯 (n=185)	町の広報紙 58.9%	公的機関の窓口	民生委員、ケアマネジャーなど

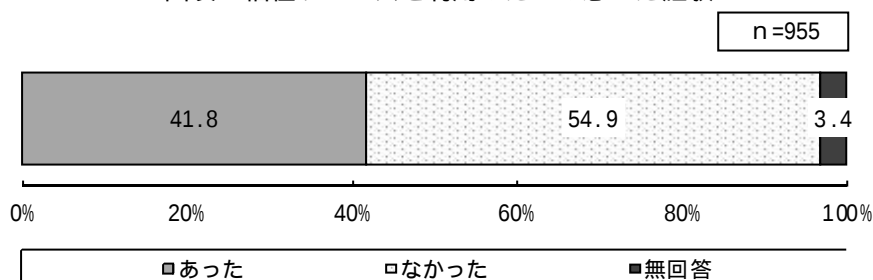
5 福祉サービスについて

(1) 福祉サービスを利用したいと思った経験

問 高齢者・障害者・子育て支援などに関する福祉サービスについて、あなたを含め家族の中で、これまでに福祉サービスを利用したいと思ったことはありましたか。【1つに○】

- 回答者の福祉サービスを利用したいと思った経験については、「あった」が41.8%、「なかった」が54.9%となっています。

図表 福祉サービスを利用したいと思った経験



	n=955	%
1 あった	399	41.8%
2 なかった	524	54.9%
無回答	32	3.4%

- 性別による福祉サービスを利用したいと思った経験をみると、「あった」と回答した割合は、男性では39.5%、女性では43.3%となっています。
- 年齢別による福祉サービスを利用したいと思った経験をみると、「あった」と回答した割合は、30歳代(47.9%)、60歳代(49.0%)に、特に高くみられます。

図表 福祉サービスを利用したいと思った経験(性別・年齢別)

	あった	なかった	無回答
男性(n=367)	39.5%	58.0%	2.5%
女性(n=575)	43.3%	53.4%	3.3%
20歳未満(n=11)	0.0%	100.0%	0.0%
20～29歳(n=54)	27.8%	70.4%	1.9%
30～39歳(n=94)	47.9%	52.1%	0.0%
40～49歳(n=106)	43.4%	56.6%	0.0%
50～59歳(n=125)	39.2%	59.2%	1.6%
60～69歳(n=292)	49.0%	49.3%	1.7%
70～79歳(n=154)	32.5%	63.6%	3.9%
80歳以上(n=115)	44.3%	41.7%	13.9%

- 地域ごとの福祉サービスを利用したいと思った経験をみると、「あった」と回答した割合は、小牛田地区では 40.6%、不動堂地区では 38.9%、南郷地区では 49.8% となっています。

図表 福祉サービスを利用したいと思った経験（地区別）

	あった	なかった	無回答
小牛田地区 (n=456)	40.6%	56.4%	3.1%
不動堂地区 (n=288)	38.9%	58.3%	2.8%
南郷地区 (n=203)	49.8%	46.3%	3.9%

- 同居家族の世帯状況別の福祉サービスを利用したいと思った経験をみると、「あった」と回答した割合は、未就学児童のいる世帯では 54.6%、児童・生徒のいる世帯では 48.2%、65 歳以上のいる世帯では 47.6%、介護の必要な方のいる世帯では 77.3% といずれも回答者全体の割合よりも高くなっています。

図表 福祉サービスを利用したいと思った経験（同居家族の世帯状況別）

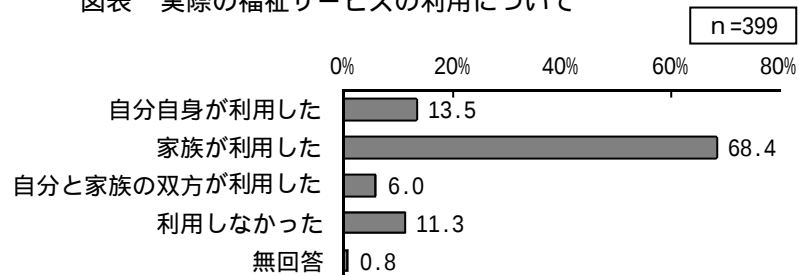
	あった	なかった	無回答
未就学児童のいる世帯 (n=108)	54.6%	44.4%	0.9%
児童・生徒のいる世帯 (n=191)	48.2%	51.3%	0.5%
65 歳以上のいる世帯 (n=441)	47.6%	51.0%	1.4%
介護の必要な方のいる世帯 (n=185)	77.3%	20.5%	2.2%

(2) 実際の利用状況について

問 前問で「1. あった」と回答した方のみお答え下さい。
実際に利用しましたか。【 1 つに ○ 】

- 前問で「あった」と回答した方 (n=399) の実際の福祉サービスの利用については、「家族が利用した」が 68.4% と最も高くなっています。
- 「自分自身が利用した」(13.5%) 「家族が利用した」(68.4%) 「自分と家族の双方が利用した」(6.0%) を合わせた 9 割 (87.9%) の方は、福祉サービスを利用したいと思い、「実際にサービスを利用した」と回答しています。

図表 実際の福祉サービスの利用について



	n=399	%
1 自分自身が利用した	54	13.5%
2 家族が利用した	273	68.4%
3 自分と家族の双方が利用した	24	6.0%
4 利用しなかった	45	11.3%
無回答	3	0.8%

- 性別による実際の福祉サービスの利用をみると、「実際にサービスを利用した」と回答した割合をみると、男性では 89.0%、女性では 87.6% となっており、男女ともに「家族が利用した」が最も高くなっています。
- 年齢別による実際の福祉サービスの利用をみると、20 歳未満では該当がなく、その他の年齢層ではいずれも「家族が利用した」が最も高くなっています。

図表 実際の福祉サービスの利用について (性別・年齢別)

	「実際にサービスを利用した」				
	自分自身が利用した	家族が利用した	自分と家族の双方が利用した	利用しなかった	無回答
男性 (n=145)	8.3%	75.2%	5.5%	10.3%	0.7%
女性 (n=249)	16.9%	64.3%	6.4%	11.6%	0.8%
20 歳未満 (n=0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20 ~ 29 歳 (n=15)	13.3%	73.3%	0.0%	13.3%	0.0%
30 ~ 39 歳 (n=45)	22.2%	42.2%	4.4%	31.1%	0.0%

	「実際にサービスを利用した」				
	自分自身が 利用した	家族が利用した	自分と家族の 双方が利用した	利用しなかった	無回答
40～49歳(n=46)	23.9%	54.3%	8.7%	13.0%	0.0%
50～59歳(n=49)	4.1%	83.7%	0.0%	12.2%	0.0%
60～69歳(n=143)	4.9%	86.7%	2.8%	4.2%	1.4%
70～79歳(n=50)	10.0%	66.0%	14.0%	8.0%	2.0%
80歳以上(n=51)	33.3%	39.2%	13.7%	13.7%	0.0%

- 地域ごとの実際の福祉サービスの利用をみると、「実際にサービスを利用した」と回答した割合をみると、小牛田地区では86.0%、不動堂地区では87.5%、南郷地区では92.1%となっています。

図表 実際の福祉サービスの利用について（地区別）

	「実際にサービスを利用した」				
	自分自身が 利用した	家族が利用した	自分と家族の 双方が利用した	利用しなかった	無回答
小牛田地区(n=185)	15.7%	64.9%	5.4%	13.5%	0.5%
不動堂地区(n=112)	15.2%	64.3%	8.0%	12.5%	0.0%
南郷地区(n=101)	7.9%	80.2%	4.0%	5.9%	2.0%

- 同居家族の世帯状況による実際の福祉サービスの利用をみると、「実際にサービスを利用した」と回答した割合をみると、未就学児童のいる世帯で76.2%、児童・生徒のいる世帯では88.1%、65歳以上のいる世帯では90.0%、介護の必要な方のいる世帯では93.0%となっています。特に未就学児童のいる世帯では、「実際にサービスを利用した」と回答した割合が回答全体よりも低くなっています。

図表 実際の福祉サービスの利用について（同居家族の世帯状況別）

	「実際にサービスを利用した」				
	自分自身が 利用した	家族が利用した	自分と家族の 双方が利用した	利用しなかった	無回答
未就学児童のいる世帯 (n=59)	18.6%	52.5%	5.1%	23.7%	0.0%
児童・生徒のいる世帯 (n=92)	19.6%	60.9%	7.6%	12.0%	0.0%
65歳以上のいる世帯 (n=210)	12.4%	73.3%	4.3%	10.0%	0.0%
介護の必要な方のいる世帯 (n=143)	17.5%	67.8%	7.7%	7.0%	0.0%

“実際にサービスを利用した”：「自分自身が利用した」、「自分と家族の双方が利用した」、「利用しなかった」と回答した方

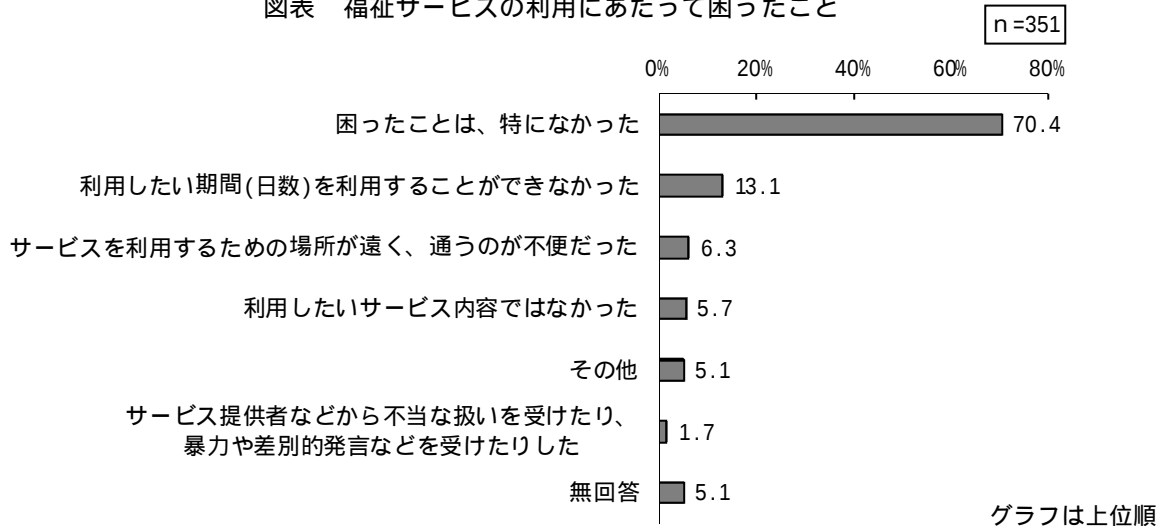
(3) 福祉サービスの利用にあたって困ったこと

問 前問で「1.自分自身が利用した」「2.家族が利用した」「3.自分と家族の双方が利用した」と回答した方のみお答え下さい。

福祉サービスの利用にあたって、困ったことは何ですか。【 あてはまるものすべてに。 】

- 前問で「自分自身が利用した」「家族が利用した」「自分と家族の双方が利用した」と回答した方(n=351)の福祉サービスの利用にあたって困ったことについては、「困ったことは、特になかった」が70.4%と最も高くなっています。
- 「利用したいサービス内容ではなかった」(5.7%)、「利用したい期間(日数)を利用することができなかった」(13.1%)、「サービスを利用するための場所が遠く、通うのが不便だった」(6.3%)、「サービス提供者などから不当な扱いを受けたり、暴力や差別的発言などを受けたりした」(1.7%)、「その他」(5.1)を合わせた3割(31.9%)の方は、「困ったことがあった」と回答しています。

図表 福祉サービスの利用にあたって困ったこと



	n=351	%
1 利用したいサービス内容ではなかった	20	5.7%
2 利用したい期間(日数)を利用することができなかった	46	13.1%
3 サービスを利用するための場所が遠く、通うのが不便だった	22	6.3%
4 サービス提供者などから不当な扱いを受けたり、暴力や差別的発言などを受けたりした	6	1.7%
5 その他	18	5.1%
6 困ったことは、特になかった	247	70.4%
無回答	18	5.1%

- 性別による福祉サービスの利用にあたって“ 困ったことがあった ”と回答した割合をみると、男性では 24.0%、女性では 25.2%となっています。
- 年齢別による福祉サービスの利用にあたって“ 困ったことがあった ”と回答した割合をみると、20 歳未満では該当がなく、20 歳代では 7.7%、30 歳代では 48.4%、40 歳代では 17.5%、50 歳代では 27.9%、60 歳代では 25.2%、70 歳代では 20.0%、80 歳以上では 18.2%となっており、特に 30 歳代で“ 困ったことがあった ”と回答した割合が高くなっています。

図表 福祉サービスの利用にあたって困ったこと（性別・年齢別）

	“ 困ったことがあった ”	“ 困ったことは、特になかった ”	無回答
男性(n=129)	24.0%	73.6%	2.3%
女性(n=218)	25.2%	67.9%	6.9%
20 歳未満(n=0)	-	-	-
20 ～ 29 歳(n=13)	7.7%	92.3%	0.0%
30 ～ 39 歳(n=31)	48.4%	51.6%	0.0%
40 ～ 49 歳(n=40)	17.5%	77.5%	5.0%
50 ～ 59 歳(n=43)	27.9%	69.8%	2.3%
60 ～ 69 歳(n=135)	25.2%	69.6%	5.2%
70 ～ 79 歳(n=45)	20.0%	73.3%	6.7%
80 歳以上(n=44)	18.2%	70.5%	11.4%

- 地域ごとの福祉サービスの利用にあたって“ 困ったことがあった ”と回答した割合をみると、小牛田地区では 27.0%、不動堂地区では 21.4%、南郷地区では 23.7%となっています。

図表 福祉サービスの利用にあたって困ったこと（地区別）

	“ 困ったことがあった ”	“ 困ったことは、特になかった ”	無回答
小牛田地区(n=159)	27.0%	68.6%	4.4%
不動堂地区(n=98)	21.4%	74.5%	4.1%
南郷地区(n=93)	23.7%	68.8%	7.5%

“ 困ったことがあった ”:「利用したいサービス内容ではなかった」、「利用したい期間(日数)を利用することができなかった」、「サービスを利用するための場所が遠く、通うのが不便だった」、「サービス提供者などから不当な扱いを受けたり、暴力や差別的発言などを受けたりした」、「その他」と回答した方

- 同居家族の世帯状況による福祉サービスの利用にあたって“困ったことがあった”と回答した割合をみると、未就学児童のいる世帯で37.8%、児童・生徒のいる世帯では22.2%、65歳以上のいる世帯では20.6%、介護の必要な方のいる世帯では24.1%となっています。

図表 福祉サービスの利用にあたって困ったこと（同居家族の世帯状況別）

	“困ったことがあった”	“困ったことは、特になかった”	無回答
未就学児童のいる世帯 (n=45)	37.8%	60.0%	2.2%
児童・生徒のいる世帯 (n=81)	22.2%	70.4%	7.4%
65歳以上のいる世帯 (n=189)	20.6%	74.6%	4.8%
介護の必要な方のいる世帯 (n=133)	24.1%	70.7%	5.3%

“困ったことがあった”：「利用したいサービス内容ではなかった」、「利用したい期間（日数）を利用することができなかった」、「サービスを利用するための場所が遠く、通うのが不便だった」、「サービス提供者などから不当な扱いを受けたり、暴力や差別的発言などを受けたりした」、「その他」と回答した方

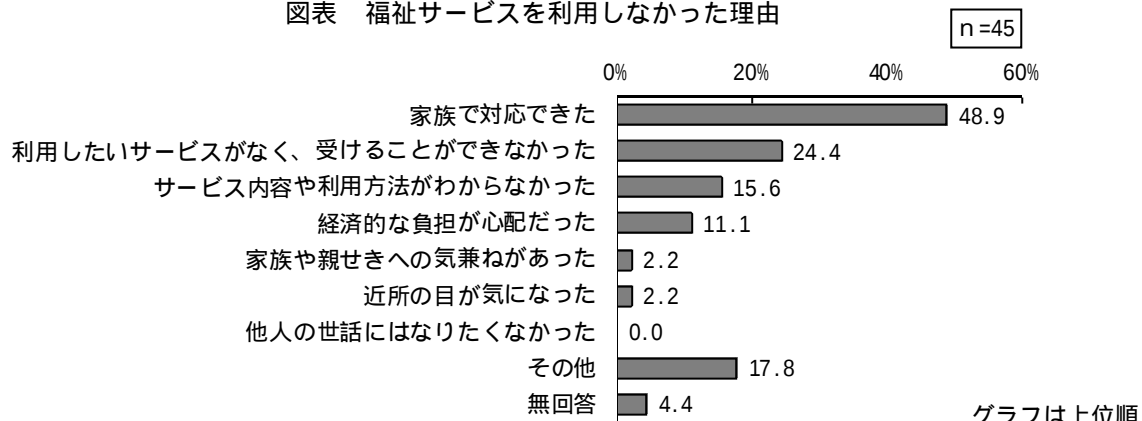
(4) 福祉サービスを利用しなかった理由

問 前問で「4. 利用しなかった」と回答した方のみお答え下さい。

サービスを利用しなかった理由は何ですか。【 あてはまるものすべてに。 】

- 前問で「利用しなかった」と回答した方 (n=45) の福祉サービスを利用しなかった理由については、「家族で対応できた」が 48.9%と最も高くなっています。次いで「利用したいサービスがなく、受けることができなかった」が 24.4%、「サービス内容や利用方法がわからなかった」が 15.6%となっています。

図表 福祉サービスを利用しなかった理由



	n=45	%
1 家族で対応できた	22	48.9%
2 家族や親せきへの気兼ねがあった	1	2.2%
3 近所の目が気になった	1	2.2%
4 他人の世話にはなりたくなかった	0	0.0%
5 経済的な負担が心配だった	5	11.1%
6 サービス内容や利用方法がわからなかった	7	15.6%
7 利用したいサービスがなく、受けることができなかった	11	24.4%
8 その他	8	17.8%
無回答	2	4.4%

- 参考までに、性別、年齢別、地区別、同居家族の世帯状況別の福祉サービスを利用しなかった理由をみると、「家族で対応できた」を概ね最上位に挙げています。

図表 福祉サービスを利用しなかった理由（性別・年齢別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
男性 (n=15)	家族で対応できた 40.0%	利用したいサービスがなく、 受けることができなかった 26.7%	経済的な負担が心配だった 13.3%
女性 (n=29)	家族で対応できた 55.2%	利用したいサービスがなく、 受けることができなかった 24.1%	サービス内容や利用方法が わからなかった 20.7%
20歳未満 (n=0)	-	-	-
20～29歳 (n=2)	経済的な負担が心配だった サービス内容や利用方法がわからなかった 利用したいサービスがなく、受けることができなかった 50.0%		
30～39歳 (n=14)	家族で対応できた 57.1%	利用したいサービスがなく、 受けることができなかった 35.7%	経済的な負担が心配だった サービス内容や利用方法が わからなかった 21.4%
40～49歳 (n=6)	家族で対応できた サービス内容や利用方法がわからなかった 33.3%	経済的な負担が心配だった 利用したいサービスがなく、受けることができなかった 16.7%	
50～59歳 (n=6)	家族で対応できた 50.0%	利用したいサービスがなく、 受けることができなかった 33.3%	-
60～69歳 (n=6)	家族で対応できた 50.0%	サービス内容や利用方法がわからなかった 利用したいサービスがなく、受けることができなかった 16.7%	
70～79歳 (n=4)	家族で対応できた 50.0%	近所の目が気になった 25.0%	-
80歳以上 (n=7)	家族で対応できた 57.1%	家族や親せきへの気兼ねがあった 利用したいサービスがなく、受けることができなかった 14.3%	

図表 福祉サービスを利用しなかった理由（地区別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
小牛田地区 (n=25)	家族で対応できた 44.0%	利用したいサービスがなく、 受けることができなかった 32.0%	経済的な負担が心配だった 16.0%
不動堂地区 (n=14)	家族で対応できた 50.0%	サービス内容や利用方法が わからなかった 28.6%	利用したいサービスがなく、 受けることができなかった 21.4%
南郷地区 (n=6)	家族で対応できた 66.7%	近所の目が気になった 経済的な負担が心配だった 16.7%	

図表 福祉サービスを利用しなかった理由（同居家族の世帯状況別：上位3項目）

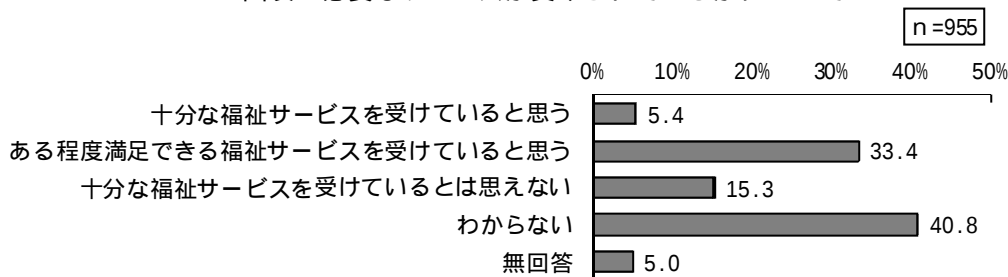
	第1位	第2位	第3位
未就学児童 のいる世帯 (n=14)	家族で対応できた 57.1%	利用したいサービスがなく、 受けることができなかった 35.7%	経済的な負担が心配だった サービス内容や利用方法が わからなかった 21.4%
児童・生徒 のいる世帯 (n=11)	家族で対応できた 54.5%	利用したいサービスがなく、 受けることができなかった 36.4%	サービス内容や利用方法が わからなかった 27.3%
65歳以上 のいる世帯 (n=21)	家族で対応できた 52.4%	経済的な負担が心配だった 14.3%	サービス内容や利用方法が わからなかった 利用したいサービスがなく、 受けることができなかった 9.5%
介護の必要な方 のいる世帯 (n=10)	家族で対応できた 40.0%	サービス内容や利用方法がわからなかった 利用したいサービスがなく、受けることができなかった 30.0%	

(5) 必要なサービスが受けられているかについて

問 町内において、例えば介護保険や障害福祉、子育て支援サービスなどの福祉サービスを必要としている人が、十分なサービスを受けていると思いますか。【 1 つに ○ 】
また、その理由についてもご記入ください。

- 回答者の必要なサービスが受けられているかについては、「十分な福祉サービスを受けていると思う」(5.4%)、「ある程度満足できる福祉サービスを受けていると思う」(33.4%) を合わせた 4 割 (38.8%) の方は“ 必要なサービスが受けられている ”と感じている一方で、「十分な福祉サービスを受けているとは思えない」と感じている方は 15.3% となっています。
- 「わからない」と回答した割合は、40.8% と最も高くなっています。

図表 必要なサービスが受けられているかについて



	n=955	%
1 十分な福祉サービスを受けていると思う	52	5.4%
2 ある程度満足できる福祉サービスを受けていると思う	319	33.4%
3 十分な福祉サービスを受けているとは思えない	146	15.3%
4 わからない	390	40.8%
無回答	48	5.0%

- 性別による“ 必要なサービスが受けられている ”と回答した割合をみると、男性では 40.0%、女性では 38.5% となっています。
- 年齢別による“ 必要なサービスが受けられている ”と回答した割合をみると、60 歳代以上の 4 割以上が“ 必要なサービスが受けられている ”と回答しています。

図表 必要なサービスが受けられているかについて (性別)

	「必要なサービスが受けられている」				
	十分な福祉サービスを 受けていると思う	ある程度満足できる 福祉サービスを受 けていると思う	十分な福祉サービスを 受けているとは思 えない	わからない	無回答
男性(n=367)	4.9%	35.1%	15.3%	40.3%	4.4%
女性(n=575)	5.6%	32.9%	15.3%	41.2%	5.0%

“ 必要なサービスが受けられている ”: 「十分な福祉サービスを受けていると思う」、「ある程度満足できる福祉サービスを受けていると思う」と回答した方

図表 必要なサービスが受けられているかについて（年齢別）

	「必要なサービスが受けられている」			わからない	無回答
	十分な福祉サービスを 受けていると思う	ある程度満足できる 福祉サービスを受 けていると思う	十分な福祉サービスを 受けているとは思 えない		
20歳未満(n=11)	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
20～29歳(n=54)	1.9%	31.5%	14.8%	51.9%	0.0%
30～39歳(n=94)	1.1%	24.5%	23.4%	51.1%	0.0%
40～49歳(n=106)	1.9%	34.9%	21.7%	40.6%	0.9%
50～59歳(n=125)	4.0%	32.8%	17.6%	41.6%	4.0%
60～69歳(n=292)	4.5%	37.7%	15.4%	38.7%	3.8%
70～79歳(n=154)	8.4%	38.3%	11.0%	35.1%	7.1%
80歳以上(n=115)	14.8%	27.8%	7.8%	33.9%	15.7%

- 地域ごとの“必要なサービスが受けられている”と回答した割合をみると、小牛田地区では38.8%、不動堂地区では33.3%、南郷地区では47.8%とそれぞれ最も高くなっています。

図表 必要なサービスが受けられているかについて（地区別）

	「必要なサービスが受けられている」			わからない	無回答
	十分な福祉サービスを 受けていると思う	ある程度満足できる 福祉サービスを受 けていると思う	十分な福祉サービスを 受けているとは思 えない		
小牛田地区(n=456)	4.6%	34.2%	16.0%	40.1%	5.0%
不動堂地区(n=288)	5.2%	28.1%	19.4%	43.4%	3.8%
南郷地区(n=203)	7.4%	40.4%	8.4%	37.9%	5.9%

- 同居家族の世帯状況による“必要なサービスが受けられている”と回答した割合をみると、未就学児童のいる世帯で33.4%、児童・生徒のいる世帯では40.3%、65歳以上のいる世帯では42.6%、介護の必要な方のいる世帯では48.6%といずれも回答者全体の割合よりも高くなっています。

図表 必要なサービスが受けられているかについて（同居家族の世帯状況別）

	「必要なサービスが受けられている」			わからない	無回答
	十分な福祉サービスを 受けていると思う	ある程度満足できる 福祉サービスを受 けていると思う	十分な福祉サービスを 受けているとは思 えない		
未就学児童のいる世帯 (n=108)	1.9%	31.5%	28.7%	35.2%	2.8%
児童・生徒のいる世帯 (n=191)	4.7%	35.6%	16.8%	40.3%	2.6%
65歳以上のいる世帯 (n=441)	4.3%	38.3%	15.2%	38.5%	3.6%
介護の必要な方のいる世帯 (n=185)	7.0%	41.6%	18.9%	28.6%	3.8%

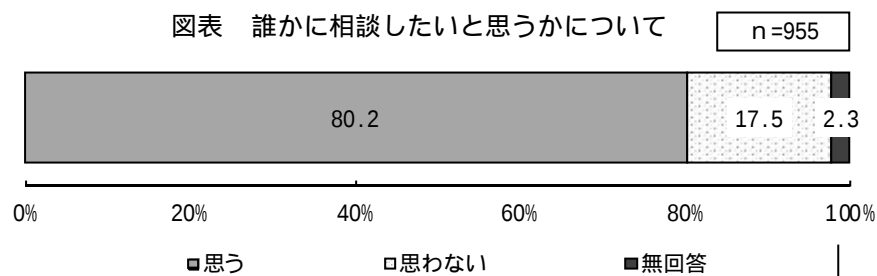
“必要なサービスが受けられている”：「十分な福祉サービスを受けていると思う」、「ある程度満足できる福祉サービスを受けていると思う」と回答した方

6 相談について

(1) 誰かに相談したいと思うかについて

問 あなたはふだんの暮らしの中で困ったことがあるときに、誰かに相談したいと思いますか。
【1つに○】

- 回答者の困ったことがあるときに誰かに相談したいかについて、「思う」が80.2%、「思わない」が17.5%となっています。



	n=955	%
1 思う	766	80.2%
2 思わない	167	17.5%
無回答	22	2.3%

- 性別による困ったことがあるときに誰かに相談したいかについて、「思う」と回答した割合は、男性では74.1%、女性では84.2%となっています。
- 年齢別による困ったことがあるときに誰かに相談したいかについて、「思う」と回答した割合は、各年齢層で7～9割を占めていますが、特に20歳代では「思わない」と回答した割合が3割(27.8)を占め、他の年齢層よりも高くなっています。

図表 誰かに相談したいと思うかについて(性別・年齢別)

	思う	思わない	無回答
男性(n=367)	74.1%	22.9%	3.0%
女性(n=575)	84.2%	14.1%	1.7%
20歳未満(n=11)	90.9%	9.1%	0.0%
20～29歳(n=54)	72.2%	27.8%	0.0%
30～39歳(n=94)	78.7%	21.3%	0.0%
40～49歳(n=106)	82.1%	15.1%	2.8%
50～59歳(n=125)	76.0%	24.0%	0.0%
60～69歳(n=292)	83.6%	14.4%	2.1%
70～79歳(n=154)	79.9%	17.5%	2.6%
80歳以上(n=115)	80.9%	12.2%	7.0%

- 地域ごとの困ったことがあるときに誰かに相談したいかについて、「思う」と回答した割合は、小牛田地区では 80.5%、不動堂地区では 79.9%、南郷地区では 80.8% となっています。

図表 誰かに相談したいと思うかについて（地区別）

	思う	思わない	無回答
小牛田地区 (n=456)	80.5%	18.2%	1.3%
不動堂地区 (n=288)	79.9%	17.4%	2.8%
南郷地区 (n=203)	80.8%	15.8%	3.4%

- 同居家族の世帯状況別の困ったことがあるときに誰かに相談したいかについて、「思う」と回答した割合は、未就学児童のいる世帯では 80.6%、児童・生徒のいる世帯では 82.2%、65 歳以上のいる世帯では 79.8%、介護の必要な方のいる世帯では 84.3%といずれも回答者全体の割合よりも高くなっています。

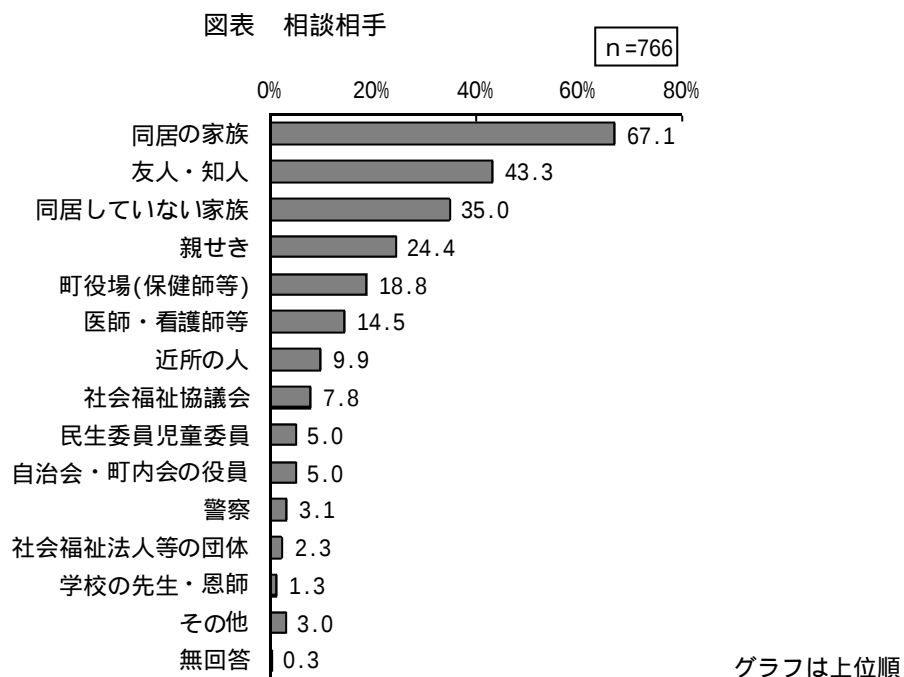
図表 誰かに相談したいと思うかについて（同居家族の世帯状況別）

	思う	思わない	無回答
未就学児童のいる世帯 (n=108)	80.6%	17.6%	1.9%
児童・生徒のいる世帯 (n=191)	82.2%	14.1%	3.7%
65 歳以上のいる世帯 (n=441)	79.8%	17.9%	2.3%
介護の必要な方のいる世帯 (n=185)	84.3%	14.1%	1.6%

(2) 相談相手

問 前問で「1. 思う」と回答した方のみお答え下さい。
誰に相談したいですか。【 主なもの 3 つまでに。 】

- 前問で「思う」と回答した方 (n=766) の相談相手は、「同居の家族」が 67.1% と最も高くなっています。次いで「友人・知人」(43.3%)、「同居していない家族」(35.0%) が上位に挙がっています。



	n=766	%
1 同居の家族	514	67.1%
2 同居していない家族	268	35.0%
3 親せき	187	24.4%
4 民生委員児童委員	38	5.0%
5 友人・知人	332	43.3%
6 自治会・町内会の役員	38	5.0%
7 近所の人	76	9.9%
8 医師・看護師等	111	14.5%
9 町役場(保健師等)	144	18.8%
10 社会福祉協議会	60	7.8%
11 社会福祉法人等の団体	18	2.3%
12 学校の先生・恩師	10	1.3%
13 警察	24	3.1%
14 その他	23	3.0%
無回答	2	0.3%

- 性別・年齢による相談相手をみると、性別、年齢にかかわらず、「同居の家族」を上位に挙げています。

図表 相談相手（性別・年齢別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
男性 (n=272)	同居の家族 65.8%	友人・知人 34.2%	同居していない家族 28.7%
女性 (n=484)	同居の家族 68.4%	友人・知人 48.6%	同居していない家族 39.3%
20歳未満 (n=10)	友人・知人 90.0%	同居の家族 80.0%	同居していない家族 学校の先生・恩師 20.0%
20～29歳 (n=39)	同居の家族、友人・知人 74.4%		同居していない家族 25.6%
30～39歳 (n=74)	同居の家族 75.7%	友人・知人 55.4%	同居していない家族 45.9%
40～49歳 (n=87)	同居の家族 71.3%	友人・知人 70.1%	同居していない家族 44.8%
50～59歳 (n=95)	同居の家族 72.6%	友人・知人 50.5%	同居していない家族 36.8%
60～69歳 (n=244)	同居の家族 65.6%	友人・知人 37.3%	同居していない家族 32.4%
70～79歳 (n=123)	同居の家族 62.6%	友人・知人 34.1%	同居していない家族 30.1%
80歳以上 (n=93)	同居の家族 57.0%	同居していない家族 34.4%	親せき 33.3%

- 地域ごとの相談相手をみると、各地域ともに「同居の家族」が最も高くなっています。

図表 相談相手（地区別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
小牛田地区 (n=367)	同居の家族 67.0%	友人・知人 44.4%	同居していない家族 37.6%
不動堂地区 (n=230)	同居の家族 70.0%	友人・知人 44.3%	同居していない家族 30.0%
南郷地区 (n=164)	同居の家族 64.0%	友人・知人 39.6%	同居していない家族 36.6%

- 同居家族の世帯状況による相談相手をみると、未就学児童のいる世帯、児童・生徒のいる世帯、65 歳以上のいる世帯、介護の必要な方のいる世帯ともに「同居の家族」が最も高くなっています。

図表 相談相手（同居家族の世帯状況別：上位 3 項目）

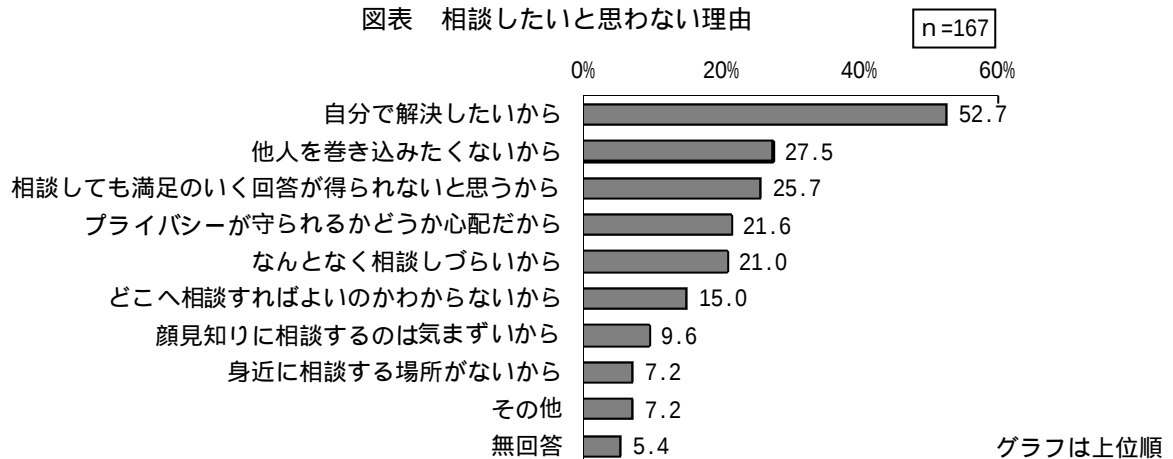
	第 1 位	第 2 位	第 3 位
未就学児童 のいる世帯 (n=87)	同居の家族 74.7%	友人・知人 52.9%	同居していない家族 44.8%
児童・生徒 のいる世帯 (n=157)	同居の家族 78.3%	友人・知人 58.0%	同居していない家族 35.0%
65 歳以上 のいる世帯 (n=352)	同居の家族 71.3%	友人・知人 41.8%	同居していない家族 31.3%
介護の必要な方 のいる世帯 (n=156)	同居の家族 62.8%	友人・知人 30.8%	町役場(保健師等) 27.6%

(3) 相談したいと思わない理由

問 前問で「2. 思わない」と回答した方のみお答え下さい。
相談したいと思わない理由は何ですか。【 主なもの 3 つまでに ○ 】

- 前問で「思わない」と回答した方 (n=167) の相談したいと思わない理由は、「自分で解決したいから」が 52.7% と最も高くなっています。次いで「他人を巻き込みたくないから」(27.5%)、「相談しても満足のいく回答が得られないと思うから」(25.7%) が上位に挙がっています。

図表 相談したいと思わない理由



	n=167	%
1 自分で解決したいから	88	52.7%
2 他人を巻き込みたくないから	46	27.5%
3 顔見知りに相談するのは気まずいから	16	9.6%
4 プライバシーが守られるかどうか心配だから	36	21.6%
5 どこへ相談すればよいのかわからないから	25	15.0%
6 身近に相談する場所がないから	12	7.2%
7 相談しても満足のいく回答が得られないと思うから	43	25.7%
8 なんとなく相談しづらいから	35	21.0%
9 その他	12	7.2%
無回答	9	5.4%

- 性別による相談したいと思わない理由をみると、男女ともに「自分で解決したいから」が、最も高くなっています。
- 年齢別による相談したいと思わない理由においても、「自分で解決したいから」は、各年齢層で上位に挙がっています。その他、30 歳代、40 歳代、50 歳代、60 歳代では、「プライバシーが守られるかどうか心配だから」を理由の上位に挙げています。

図表 相談したいと思わない理由（性別・年齢別：上位 3 項目）

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
男性 (n=84)	自分で解決したいから 56.0%	他人を巻き込みたくないから 27.4%	相談しても満足のいく回答 が得られないと思うから 23.8%
女性 (n=81)	自分で解決したいから 50.6%	相談しても満足のいく回答 が得られないと思うから 28.4%	他人を巻き込みたくないから 27.2%
20 歳未満 (n=1)	自分で解決したいから 100.0%	-	-
20～29 歳 (n=15)	自分で解決したいから 73.3%	他人を巻き込みたくないから 60.0%	相談しても満足のいく回答 が得られないと思うから なんとなく相談しづらいから 26.7%
30～39 歳 (n=20)	他人を巻き込みたくないから 45.0%	自分で解決したいから 40.0%	プライバシーが守られるか どうか心配だから 30.0%
40～49 歳 (n=16)	どこへ相談すればよいのか わからないから 50.0%	プライバシーが守られるか どうか心配だから 43.8%	自分で解決したいから 相談しても満足のいく回答 が得られないと思うから 37.5%
50～59 歳 (n=30)	自分で解決したいから 40.0%	プライバシーが守られるか どうか心配だから 36.7%	相談しても満足のいく回答 が得られないと思うから 30.0%
60～69 歳 (n=42)	自分で解決したいから 57.1%	相談しても満足のいく回答 が得られないと思うから 26.2%	プライバシーが守られるか どうか心配だから 21.4%
70～79 歳 (n=27)	自分で解決したいから 55.6%	他人を巻き込みたくないから 29.6%	相談しても満足のいく回答 が得られないと思うから なんとなく相談しづらいから 25.9%
80 歳以上 (n=14)	自分で解決したいから 78.6%	他人を巻き込みたくないから 28.6%	なんとなく相談しづらいから 14.3%

- 地域ごとの相談したいと思わない理由をみると、各地域ともに「自分で解決したいから」が最も高くなっています。

図表 相談したいと思わない理由（地区別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
小牛田地区 (n=83)	自分で解決したいから 57.8%	他人を巻き込みたくないから 33.7%	相談しても満足のいく回答 が得られないと思うから 21.7%
不動堂地区 (n=50)	自分で解決したいから 40.0%	相談しても満足のいく回答 が得られないと思うから 36.0%	プライバシーが守られるか どうか心配だから 30.0%
南郷地区 (n=32)	自分で解決したいから 62.5%	なんとなく相談しづらいから 25.0%	他人を巻き込みたくないから 相談しても満足のいく回答 が得られないと思うから 18.8%

- 同居家族の世帯状況による相談したいと思わない理由をみると、未就学児童のいる世帯、児童・生徒のいる世帯、65歳以上のいる世帯、介護の必要な方のいる世帯ともに「自分で解決したいから」が最も高くなっています。

図表 相談したいと思わない理由（同居家族の世帯状況別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
未就学児童 のいる世帯 (n=19)	自分で解決したいから 57.9%	他人を巻き込みたくないから 31.6%	プライバシーが守られるか どうか心配だから 相談しても満足のいく回答 が得られないと思うから なんとなく相談しづらいから 21.1%
児童・生徒 のいる世帯 (n=27)	自分で解決したいから 55.6%	相談しても満足のいく回答 が得られないと思うから 33.3%	他人を巻き込みたくないから 29.6%
65歳以上 のいる世帯 (n=79)	自分で解決したいから 50.6%	他人を巻き込みたくないから 29.1%	相談しても満足のいく回答 が得られないと思うから 25.3%
介護の必要な方 のいる世帯 (n=26)	自分で解決したいから 46.2%	相談しても満足のいく回答 が得られないと思うから 34.6%	他人を巻き込みたくないから 26.9%

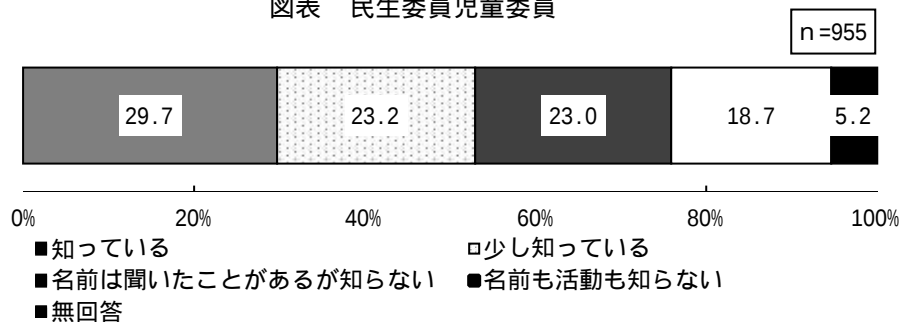
(4) 民生委員児童委員・健康協力員について

問 あなたは、「 民生委員児童委員 」、「 健康協力員 」の活動について、ご存知ですか。
【 それぞれ 1 つに ○ 】

民生委員児童委員

- 回答者の民生委員児童委員の認知状況は、「知っている」(29.7%) 「少し知っている」(23.2%) を合わせた 5 割 (52.9%) が “ 知っている ” と回答する一方で、「名前は聞いたことがあるが知らない」(23.0%) 「名前も活動も知らない」(21.3%) といった “ 知らない ” と回答した割合は 4 割 (44.3%) となっています。

図表 民生委員児童委員



	n=955	%
1 知っている	284	29.7%
2 少し知っている	222	23.2%
3 名前は聞いたことがあるが知らない	220	23.0%
4 名前も活動も知らない	179	18.7%
無回答	50	5.2%

- 性別による民生委員児童委員を “ 知っている ” と回答する割合は、男性では 49.9%、女性では 55.1% となっています。
- 年齢別による民生委員児童委員を “ 知っている ” と回答する割合は、20 歳未満では 9.1%、20 歳代では 20.4%、30 歳代では 26.6%、40 歳代では 40.6%、50 歳代では 52.8%、60 歳代では 65.1%、70 歳代では 65.0%、80 歳以上では 60.0% となっており、比較的若い世代の認知が低くなっています。

図表 民生委員児童委員 (性別)

	「 知 っ て い る 」		「 知 ら な い 」		無回答
	知っている	少し知っている	名前は聞いたことがあるが知らない	名前も活動も知らない	
男性 (n=367)	28.9%	21.0%	24.0%	21.3%	4.9%
女性 (n=575)	30.1%	25.0%	22.6%	17.4%	4.9%

“ 知っている ” : 「 知っている 」、「 少し知っている 」 と回答した方

“ 知らない ” : 「 名前は聞いたことがあるが知らない 」、「 名前も活動も知らない 」 と回答した方

図表 民生委員児童委員（年齢別）

	「知っている」		「知らない」		無回答
	知っている	少し知っている	名前は聞いたことがあるが知らない	名前も活動も知らない	
20歳未満(n=11)	0.0%	9.1%	36.4%	54.5%	0.0%
20～29歳(n=54)	5.6%	14.8%	37.0%	42.6%	0.0%
30～39歳(n=94)	10.6%	16.0%	35.1%	38.3%	0.0%
40～49歳(n=106)	12.3%	28.3%	34.0%	21.7%	3.8%
50～59歳(n=125)	25.6%	27.2%	29.6%	16.0%	1.6%
60～69歳(n=292)	36.0%	29.1%	17.8%	14.4%	2.7%
70～79歳(n=154)	45.5%	19.5%	16.2%	9.7%	9.1%
80歳以上(n=115)	43.5%	16.5%	10.4%	12.2%	17.4%

- 地域ごとの民生委員児童委員を“知っている”と回答する割合は、小牛田地区では54.4%、不動堂地区では47.6%、南郷地区では58.2%となっています。

図表 民生委員児童委員（地区別）

	「知っている」		「知らない」		無回答
	知っている	少し知っている	名前は聞いたことがあるが知らない	名前も活動も知らない	
小牛田地区(n=456)	30.9%	23.5%	23.0%	18.2%	4.4%
不動堂地区(n=288)	23.6%	24.0%	26.0%	22.2%	4.2%
南郷地区(n=203)	35.5%	22.7%	18.7%	15.8%	7.4%

“知っている”：「知っている」、「少し知っている」と回答した方

“知らない”：「名前は聞いたことがあるが知らない」、「名前も活動も知らない」と回答した方

- 同居家族の世帯状況による民生委員児童委員を“知っている”と回答する割合は、未就学児童のいる世帯で 36.1%、児童・生徒のいる世帯では 48.1%、65 歳以上のいる世帯では 59.0%、介護の必要な方のいる世帯では 47.5%となっています。

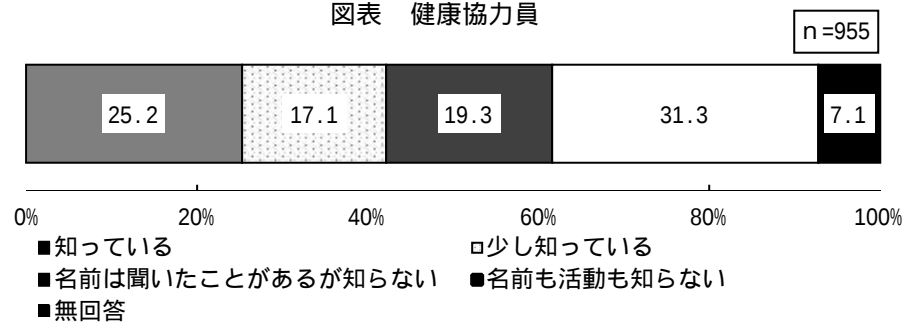
図表 民生委員児童委員（同居家族の世帯状況別）

	「知っている」		「知らない」		無回答
	知っている	少し知っている	名前は聞いたことがあるが知らない	名前も活動も知らない	
未就学児童のいる世帯 (n=108)	19.4%	16.7%	33.3%	27.8%	2.8%
児童・生徒のいる世帯 (n=191)	25.1%	23.0%	27.2%	19.9%	4.7%
65 歳以上のいる世帯 (n=441)	33.1%	25.9%	20.4%	16.6%	4.1%
介護の必要な方のいる世帯 (n=185)	21.6%	25.9%	24.3%	23.2%	4.9%

健康協力員

- 回答者の健康協力員の認知状況は、「知っている」(25.2%)、「少し知っている」(17.1%)を合わせた 4 割 (42.3%) が“知っている”と回答する一方で、「名前は聞いたことがあるが知らない」(19.3%)、「名前も活動も知らない」(31.3%)といった“知らない”と回答した割合は 5 割 (50.6%) となっています。

図表 健康協力員



	n=955	%
1 知っている	241	25.2%
2 少し知っている	163	17.1%
3 名前は聞いたことがあるが知らない	184	19.3%
4 名前も活動も知らない	299	31.3%
無回答	68	7.1%

- 性別による健康協力員を“知っている”と回答する割合は、男性では36.7%、女性では45.9%となっています。
- 年齢別による健康協力員を“知っている”と回答する割合は、20歳未満では9.1%、20歳代では9.3%、30歳代では12.7%、40歳代では34.0%、50歳代では49.6%、60歳代では54.1%、70歳代では52.6%、80歳以上では40.9%となっており、比較的若い世代の認知が低くなっています。

図表 健康協力員（性別・年齢別）

	「知っている」		「知らない」		
	知っている	少し知っている	名前は聞いたことがあるが知らない	名前も活動も知らない	無回答
男性(n=367)	20.4%	16.3%	22.1%	34.9%	6.3%
女性(n=575)	28.0%	17.9%	17.9%	29.2%	7.0%
20歳未満(n=11)	0.0%	9.1%	27.3%	63.6%	0.0%
20～29歳(n=54)	1.9%	7.4%	29.6%	61.1%	0.0%
30～39歳(n=94)	7.4%	5.3%	20.2%	67.0%	0.0%
40～49歳(n=106)	12.3%	21.7%	21.7%	40.6%	3.8%
50～59歳(n=125)	26.4%	23.2%	27.2%	22.4%	0.8%
60～69歳(n=292)	33.2%	20.9%	18.5%	23.3%	4.1%
70～79歳(n=154)	38.3%	14.3%	13.6%	22.7%	11.0%
80歳以上(n=115)	26.1%	14.8%	12.2%	19.1%	27.8%

- 地域ごとの健康協力員を“知っている”と回答する割合は、小牛田地区では39.3%、不動堂地区では41.0%、南郷地区では51.2%とそれぞれ最も高くなっています。

図表 健康協力員（地区別）

	「知っている」		「知らない」		
	知っている	少し知っている	名前は聞いたことがあるが知らない	名前も活動も知らない	無回答
小牛田地区(n=456)	22.6%	16.7%	19.1%	35.1%	6.6%
不動堂地区(n=288)	23.6%	17.4%	21.5%	31.6%	5.9%
南郷地区(n=203)	33.0%	18.2%	17.2%	22.7%	8.9%

“知っている”：「知っている」、「少し知っている」と回答した方

“知らない”：「名前は聞いたことがあるが知らない」、「名前も活動も知らない」と回答した方

- 同居家族の世帯状況による健康協力員を“知っている”と回答する割合は、未就学児童のいる世帯で25.9%、児童・生徒のいる世帯では40.8%、65歳以上のいる世帯では46.7%、介護の必要な方のいる世帯では35.1%となっています。

図表 健康協力員（同居家族の世帯状況別）

	「知っている」		「知らない」		無回答
	知っている	少し知っている	名前は聞いたことがあるが知らない	名前も活動も知らない	
未就学児童のいる世帯 (n=108)	14.8%	11.1%	18.5%	50.9%	4.6%
児童・生徒のいる世帯 (n=191)	22.0%	18.8%	20.4%	31.9%	6.8%
65歳以上のいる世帯 (n=441)	28.8%	17.9%	17.5%	30.6%	5.2%
介護の必要な方のいる世帯 (n=185)	20.0%	15.1%	21.1%	36.8%	7.0%

“知っている”：「知っている」、「少し知っている」と回答した方

“知らない”：「名前は聞いたことがあるが知らない」、「名前も活動も知らない」と回答した方

7 人権・権利擁護について

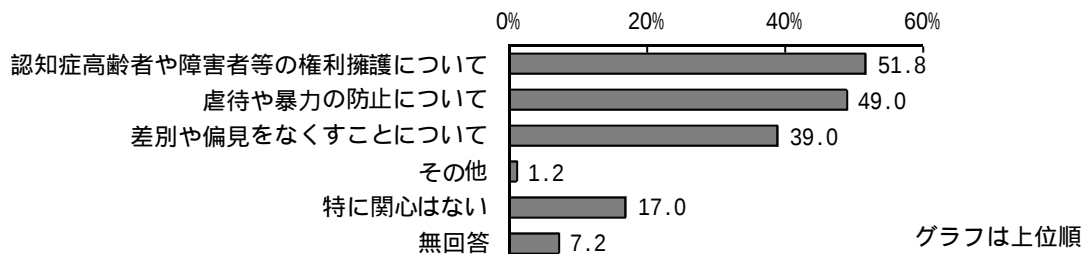
(1) 人権や権利擁護への関心

問 あなたは、人権や権利擁護に関するどのようなことに関心がありますか。
【 あてはまるものすべてに○ 】

- 回答者の人権や権利擁護への関心については、「認知症高齢者や障害者等の権利擁護について」が51.8%と最も高くなっています。次いで「虐待や暴力の防止について」(49.0%)、「差別や偏見をなくすことについて」(39.0%)が上位に挙がっています。
- 「特に関心はない」と回答した割合は17.0%となっています。

図表 人権や権利擁護への関心

n=955



	n=955	%
1 虐待や暴力の防止について	468	49.0%
2 認知症高齢者や障害者等の権利擁護について	495	51.8%
3 差別や偏見をなくすことについて	372	39.0%
4 その他	11	1.2%
5 特に関心はない	162	17.0%
無回答	69	7.2%

- 性別による人権や権利擁護への関心をみると、男女ともに「認知症高齢者や障害者等の権利擁護について」が、男性で46.0%、女性で56.2%と最も高くなっています。
- 年齢別による人権や権利擁護への関心をみると、20歳未満、20歳代、30歳代、40歳代では「虐待や暴力の防止について」、50歳代、60歳代、70歳代、80歳以上では「認知症高齢者や障害者等の権利擁護について」がそれぞれ最も高くなっています。

図表 人権や権利擁護への関心（性別）

	虐待や暴力の防止	権利擁護	差別や偏見	その他	特に関心はない	無回答
男性(n=367)	45.5%	46.0%	37.6%	1.1%	19.3%	6.8%
女性(n=575)	51.5%	56.2%	39.8%	1.2%	15.8%	7.1%

図表 人権や権利擁護への関心（年齢別）

	虐待や暴力の防止	権利擁護	差別や偏見	その他	特に関心はない	無回答
20 歳未満(n=11)	45.5%	18.2%	36.4%	0.0%	36.4%	0.0%
20～29 歳(n=54)	59.3%	44.4%	48.1%	1.9%	25.9%	3.7%
30～39 歳(n=94)	50.0%	35.1%	36.2%	1.1%	26.6%	1.1%
40～49 歳(n=106)	57.5%	48.1%	37.7%	0.9%	17.0%	4.7%
50～59 歳(n=125)	53.6%	56.0%	43.2%	1.6%	10.4%	3.2%
60～69 歳(n=292)	49.3%	58.9%	41.1%	0.7%	12.7%	7.5%
70～79 歳(n=154)	48.7%	57.1%	43.5%	1.3%	11.0%	11.7%
80 歳以上(n=115)	31.3%	47.8%	23.5%	1.7%	28.7%	13.0%

- 地域ごとの人権や権利擁護への関心をみると、小牛田地区、南郷地区では、「認知症高齢者や障害者等の権利擁護について」、不動堂地区では「虐待や暴力の防止について」をそれぞれ最上位に挙げています。

図表 人権や権利擁護への関心（地区別）

	虐待や暴力の防止	権利擁護	差別や偏見	その他	特に関心はない	無回答
小牛田地区(n=456)	48.7%	53.3%	40.1%	2.0%	15.4%	7.0%
不動堂地区(n=288)	50.7%	50.3%	39.2%	0.7%	18.1%	7.3%
南郷地区(n=203)	47.8%	51.7%	36.0%	0.0%	19.7%	5.9%

- 同居家族の世帯状況による人権や権利擁護への関心をみると、未就学児童のいる世帯、児童・生徒のいる世帯では「虐待や暴力の防止について」、65 歳以上のいる世帯、介護の必要な方のいる世帯では「認知症高齢者や障害者等の権利擁護について」をそれぞれ最上位に挙げています。

図表 人権や権利擁護への関心（同居家族の世帯状況別）

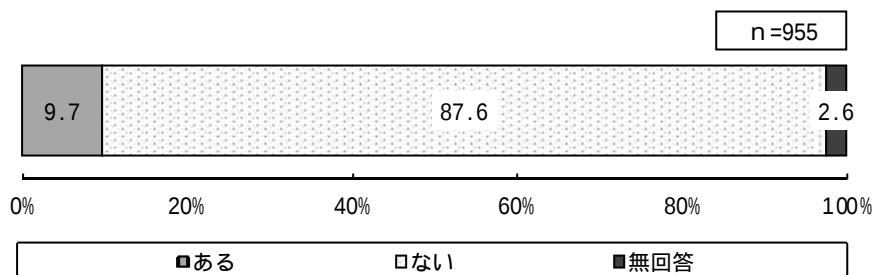
	虐待や暴力の防止	権利擁護	差別や偏見	その他	特に関心はない	無回答
未就学児童のいる世帯(n=108)	45.4%	36.1%	34.3%	0.0%	30.6%	3.7%
児童・生徒のいる世帯(n=191)	47.1%	40.8%	42.9%	1.6%	22.5%	6.8%
65 歳以上のいる世帯(n=441)	49.7%	56.5%	42.9%	1.4%	15.2%	6.8%
介護の必要な方のいる世帯(n=185)	43.8%	57.8%	34.6%	1.6%	17.3%	7.0%

(2) 虐待、家庭内暴力などを見たり、聞いたりした経験

問 あなたは、身近な場所で、子どもや高齢者、障害者等への虐待、家庭内暴力などを見たり、聞いたりしたことがありますか。【 1 つに ○ 】

- 回答者の虐待、家庭内暴力などを見たり、聞いたりした経験は、「ある」が 9.7%、「ない」が 87.6%となっています。

図表 虐待、家庭内暴力などを見たり、聞いたりした経験



	n=955	%
1 ある	93	9.7%
2 ない	837	87.6%
無回答	25	2.6%

- 性別による虐待、家庭内暴力などを見たり、聞いたりした経験をみると、「ある」と回答した割合は、男性では 8.4%、女性では 10.4%となっています。
- 年齢別による虐待、家庭内暴力などを見たり、聞いたりした経験をみると、20 歳未満の回答はみられないものの、その他の年齢層では 1 割程度が「ある」と回答しています。

図表 虐待、家庭内暴力などを見たり、聞いたりした経験（性別・年齢別）

	ある	ない	無回答
男性(n=367)	8.4%	90.2%	1.4%
女性(n=575)	10.4%	86.4%	3.1%
20 歳未満(n=11)	0.0%	100.0%	0.0%
20～29 歳(n=54)	13.0%	87.0%	0.0%
30～39 歳(n=94)	5.3%	94.7%	0.0%
40～49 歳(n=106)	15.1%	83.0%	1.9%
50～59 歳(n=125)	11.2%	88.0%	0.8%
60～69 歳(n=292)	7.5%	90.8%	1.7%
70～79 歳(n=154)	9.7%	85.7%	4.5%
80 歳以上(n=115)	11.3%	80.9%	7.8%

- 地域ごとの虐待、家庭内暴力などを見たり、聞いたりした経験をみると、「ある」と回答した割合は、小牛田地区では7.2%、不動堂地区では12.8%、南郷地区では10.3%となっています。

図表 虐待、家庭内暴力などを見たり、聞いたりした経験（地区別）

	ある	ない	無回答
小牛田地区 (n=456)	7.2%	90.4%	2.4%
不動堂地区 (n=288)	12.8%	84.0%	3.1%
南郷地区 (n=203)	10.3%	87.7%	2.0%

- 同居家族の世帯状況による虐待、家庭内暴力などを見たり、聞いたりした経験をみると、「ある」と回答した割合は、未就学児童のいる世帯では3.7%、児童・生徒のいる世帯では8.4%、65歳以上のいる世帯では9.1%、介護の必要な方のいる世帯では8.6%となっています。

図表 虐待、家庭内暴力などを見たり、聞いたりした経験（同居家族の世帯状況別）

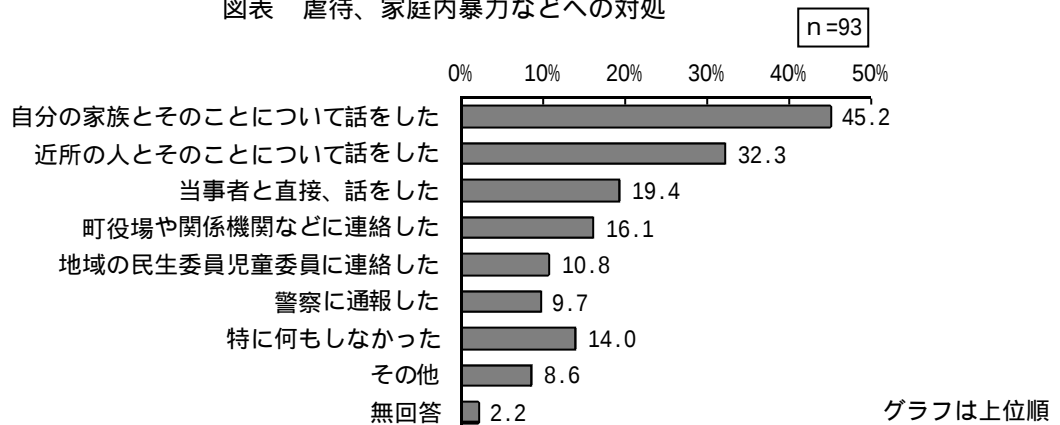
	ある	ない	無回答
未就学児童のいる世帯 (n=108)	3.7%	95.4%	0.9%
児童・生徒のいる世帯 (n=191)	8.4%	88.5%	3.1%
65歳以上のいる世帯 (n=441)	9.1%	89.3%	1.6%
介護の必要な方のいる世帯 (n=185)	8.6%	88.6%	2.7%

(3) 虐待、家庭内暴力などへの対処

問 前問で「1. ある」と回答した方のみお答え下さい。そのとき、あなたはどのようにしましたか。
【 あてはまるものすべてに○ 】

- 前問で「ある」と回答した方（n=93）の虐待、家庭内暴力などへの対処は、「自分の家族とそのことについて話をした」が45.2%と最も高くなっています。次いで「近所の人とそのことについて話をした」（32.3%）、「当事者と直接、話をした」（19.4%）が上位に挙がっています。

図表 虐待、家庭内暴力などへの対処



	n=93	%
1 警察に通報した	9	9.7%
2 町役場や関係機関などに連絡した	15	16.1%
3 地域の民生委員児童委員に連絡した	10	10.8%
4 近所の人とそのことについて話をした	30	32.3%
5 自分の家族とそのことについて話をした	42	45.2%
6 当事者と直接、話をした	18	19.4%
7 特に何もしなかった	13	14.0%
8 その他	8	8.6%
無回答	2	2.2%

- 性別による虐待、家庭内暴力などへの対処を“近所・家族・当事者と話をした”、“近所・家族・当事者と話をした”で比較すると、男女ともに“近所・家族・当事者と話をした”と回答した割合の方が高くなっています。
- 年齢別による虐待、家庭内暴力などへの対処を“近所・家族・当事者と話をした”、“近所・家族・当事者と話をした”で比較すると、20歳未満では回答がみられないものの、20歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳代、80歳以上では“近所・家族・当事者と話をした”、30歳代では“通報・連絡を行った”と回答した割合の方が高くなっています。

図表 虐待、家庭内暴力などへの対処（性別・年齢別）

	“通報・連絡を行った”	“近所・家族・当事者と話をした”	特に何もなかった	その他	無回答
男性(n=367)	22.6%	58.1%	19.4%	6.5%	3.2%
女性(n=575)	35.0%	76.7%	11.7%	10.0%	0.0%
20歳未満(n=11)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
20～29歳(n=54)	0.0%	71.4%	14.3%	14.3%	0.0%
30～39歳(n=94)	60.0%	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%
40～49歳(n=106)	56.3%	75.0%	18.8%	6.3%	0.0%
50～59歳(n=125)	14.3%	64.3%	14.3%	7.1%	0.0%
60～69歳(n=292)	22.7%	81.8%	9.1%	9.1%	0.0%
70～79歳(n=154)	33.3%	86.7%	6.7%	0.0%	0.0%
80歳以上(n=115)	30.8%	46.2%	23.1%	15.4%	15.4%

- 地域ごとの虐待、家庭内暴力などへの対処を“近所・家族・当事者と話をした”、“近所・家族・当事者と話をした”と比較すると、各地域ともに“近所・家族・当事者と話をした”と回答した割合の方が高くなっています。

図表 虐待、家庭内暴力などへの対処（地区別）

	通報・連絡を行った	近所・家族・当事者と話をした	特に何もなかった	その他	無回答
小牛田地区(n=456)	31.3%	71.9%	9.4%	12.5%	6.3%
不動堂地区(n=288)	27.3%	72.7%	12.1%	9.1%	0.0%
南郷地区(n=203)	33.3%	71.4%	14.3%	0.0%	0.0%

“通報・連絡を行った”：「警察に通報した」、「町役場や関係機関などに連絡した」、「地域の民生委員児童委員に連絡した」と回答した方

“近所・家族・当事者と話をした”：「近所の人とそのことについて話をした」、「自分の家族とそのことについて話をした」、「当事者と直接、話をした」と回答した方

- 同居家族の世帯状況別に虐待、家庭内暴力などへの対処を“近所・家族・当事者と話をした”、“近所・家族・当事者と話をした”で比較すると、各地域ともに“近所・家族・当事者と話をした”と回答した割合の方が高くなっています。

図表 虐待、家庭内暴力などへの対処（同居家族の世帯状況別）

	通報・連絡を行った	近所・家族・当事者と話をした	特に何もしなかった	その他	無回答
未就学児童のいる世帯 (n=108)	25.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%
児童・生徒のいる世帯 (n=191)	43.8%	50.0%	18.8%	12.5%	0.0%
65歳以上のいる世帯 (n=441)	37.5%	77.5%	12.5%	5.0%	0.0%
介護の必要な方のいる世帯 (n=185)	25.0%	62.5%	18.8%	6.3%	0.0%

“通報・連絡を行った”：「警察に通報した」、「町役場や関係機関などに連絡した」、「地域の民生委員児童委員に連絡した」と回答した方

“近所・家族・当事者と話をした”：「近所の人とそのことについて話をした」、「自分の家族とそのことについて話をした」、「当事者と直接、話をした」と回答した方

8 町の福祉施策について

(1) 町の福祉施策への意見・提案等

問 町の福祉施策について、ご意見・ご提案などがありましたら、ご記入ください

- 回答者の町の福祉施策への意見・提案等では、主に子育て、障がい者、高齢者支援に対する意見、要望とともに、福祉サービスに関する周知や相談のあり方公共交通等の移動手段等に関する要望が挙がっています。

図表 町の福祉施策への意見・提案等

テーマ	主な意見
子育て支援	・安心して子育てができる地域社会になるような施策が必要 ・保育所の確保について短時間でも預けられればありがたい ・子どもを育てやすい環境をもっと充実させてほしい ・子育て支援等に関しては、金銭だけであれば良いとは思わない ・病児保育可能な場所があると助かります
障害者支援	・障害者等が種々と利用できたり、利益になるようなことがたくさんあるのに、町は何も連絡をしないし、教えてもくれない ・もう少し障害者、障害者の家族に目をむけてほしい
高齢者支援	・高齢者の介護に携わっている家族の心のケアを考えて欲しい ・高齢者、障害者等、自宅で暮らしている人への定期的な訪問 ・在宅で自立した生活を営むことができるように、(介護保険法によらない)「軽度生活支援事業」が実施されたい ・介護認定を受けてなくともお昼の弁当等があったら(希望するとき)良いとき等、受けられるサービスが欲しい
福祉サービスに関する周知のあり方	・ある程度、どのような施設がどこにあるか、広報等で教えていただけるとありがたい ・利用できるサービスを情報としてわかりやすくしてほしい ・情報を得るためには、どうしたらいいのかさえわからない ・簡単な冊子等があると便利 ・説明会を行政区ごとに実施できないか(年1回くらい) ・自分達がどんな福祉サービスを受けられるのかわからない人が多いと思う ・高齢者や子育てのお母さんに限らず、すべての年齢層の方に広く浸透するような情報提供の方法
相談体制	・相談しやすい場所、人 ・月に1回程度、福祉サービスの相談ができる窓口があると助かる
公共交通等の移動手段	・高齢になるにつれて、公共交通機関がより充実していないと、利用したい施設にたどり着かない ・町内バスの運行は土・日・祝日は休止になっており、行事があっても見物に行けず残念 ・町民バスのルートを、病院や公共施設を廻るようにしてほしい ・車がないので、買い物に困っている ・家族のいない一人暮らしの時、福祉タクシーがあったらいい ・地域福祉活動お茶会交流の場へ参加するときに送り迎えの人がいたら良いと思う

テーマ	主な意見
福祉サービス体制	・福祉のサービスは、非課税の人とか限られた人達が利用しやすいようになっているような気がしてならない。もう少しその他の人も利用できればよいと思う
福祉教育	・どここの学校にも福祉教育、人権教育という計画があるようだが、低学年からの徹底した教育を遂行して欲しい
その他	・自治会長、民生委員の役割は重要であり、研修や活動のPRが必要 ・世代交流を目的として、老人と子どものふれあう場 ・寝たきりの家族、また障害のある家族の会はないのでしょうか ・お互いに困っていること、こんなことをしている、こんな工夫をしている等の話しの場があったらよい ・弱者を助けるサービスを増やして欲しい ・近所だからと言って、あまり中に踏み込めないときもあるので、民生委員さんの活躍を促して欲しい ・もっと町人が参加できる催しをして欲しい ・限りある町の予算の中で、どうにか格差社会になってもそういう人達の生活が成り立つよう工夫して欲しい